



第 56 号
令和8年3月1日
山形県立米沢校
興讓館高等学
体育文化後援会事務局
(株)川島印刷

部活動の現状と危機について

体育文化後援会会長 小島 長五郎



物心両面に渡りご支援ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、令和七年夏季は全国的に記録的な猛暑となり、米沢市も例年にも増して暑い日が続きました。生徒・指導者ともに熱中症対策に神経を使いながらの部活動となりました。加えて本校が所在する南原地区には熊が頻繁に出没し、グラウンドでは熊が近づかないようにと、ラジオの音量をマックスに上げ練習を行うなど被害防止の対策を行っております。生徒への被害はありませんが、安心して部活動に励める環境にしてあげたいと心より願っております。

現在、山形県教育委員会では「県立高校未来創造ビジョン」を策定中であり、東南置賜地域の県立高校の在り方についても今後議論される見通しですが、部活動の状況を踏まえ、通学時間の短縮と部

活動時間の確保の観点からも、新しい高校は米沢市街中心部へ設置して頂きたいと考えております。

（仮称）米沢新高校の早期整備を実現する会」では、市街中心部への設置を現実とするために著名活動を開始しております。同窓会の皆様、保護者の皆様には趣旨をご理解頂き、署名活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度はフエンスング部二年生石原菜里さんがインターハイ女子個人エペで全国第三位を成し遂げ、また、吹奏楽研究クラブは県大会で金賞を獲得し、十六年ぶりに東北大会に出場、東北大会でも銅賞と健闘しました。ESSは全国英語大会に初出場を果たすという快挙を成し遂げました。

体育文化後援会は、これからも生徒が安心して部活動に励むことが出来るように、また、教職員の皆さんが安心して指導できる環境を作れるようにと役員一同力を合わせて活動して参ります。会員の皆様並びに同窓会の皆様には更なるご支援をお願い申し上げます。

ごあいさつ



体育文化後援会の会員の皆様におかれましては、本校の体育文化活動をはじめとする教育活動全般にわたり、物心両面にわたるご支援・ご協力をいただいております。とに心より感謝申し上げます。また、賛助会員として浄財を賜っております方々にも厚く御礼申し上げます。

の加入を任意とし、生徒の多様な活動の場を地域に広げていく動きが加速しています。中学校では「部活動の地域展開」に向け、各自自治体とその環境整備を進めています。部活動に対する社会の認識や教育界の考え方が大きく変わっていく中において、本校では、九割以上の生徒が部活動に加入し、意欲的に活動しております。放課後には校舎の内外から元気な声が響き、また休日には文化部の生徒たちが地域行事に向いて地域の方々とともにボランティア活動に従事したり、子どもたちと交流をしたりする姿が見られます。「文武両道」の伝統を受け継ぎ、「興讓の精神」を胸に一人一人の生徒が真摯に学校生活に向き合う姿勢を、学校としてこれからも大切にしていきたいと思っております。

校長 吉田 直史

また本校では、文部科学省指定のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業や探究学習の取組みが実を結び、全国レベルのコンクールに参加の機会をいただくことも多くなりました。そして数々の賞もいただけるようになりました。部活動加入の生徒のみならず全生徒がその恩恵にあずかれるよう、これらの学校の強みを生かす教育活動や、教育環境の充実に向けた設備や備品等の購入にも多大なご支援をいただいております。重ねて感謝申し上げます。

さて、藩校創立二五〇周年を機に、伝統ある興讓館の数多の応援歌の中から代表的な応援歌を、応援団幹部の形（東京六大学の応援を参考にした手振り）とともに映像と音声に残そうと、応援団OB会有志の方々が立ち上がりました。本校応援団は、生徒自治会と同様に長い歴史を持ち、校歌や応援歌を一般生徒に伝授し、各種大会の応援や学校行事において先頭に立って一体感を醸成する役割を担ってきました。歌い継がれてきた校歌や応援歌は、多くの先輩方の心に部活動の記憶と

全国大会での学びを通して ESS部 長岡しほり

私達ESS部英語デ
イバート班は、十二月
二十日から二十一日に
かけて行われた「全国
高校生英語デイベート
記念大会 in埼玉」に
出場しました。結果は、
六戦中二勝三敗一分で
六十八チーム中四十六
位で、全国大会の目標
として掲げた二勝を達
成することができまし
た。T.T.Tや台湾研修
関西キャリア研修など
で準備期間がなかなか
取れない中でも、英語
デイベート班一人ひと
りが自分ができる精一
杯を尽くされた結果
だと思えます。それぞ
れの県代表チームとの試合は、英語力だけで
はなく批判的思考力を育める機会となりまし
た。この目標を成し遂げられたのは、支え、
ご指導くださった先生方やコーチ、そして応
援してくれた先輩方や家族のおかげです。そ
の感謝を忘れず、この貴重な経験で学んだこ
とを今後の成長につなげていきます。



十二分間にかける夏 吹奏楽研究クラブ 齋藤 永遠

「全国大会出場」：今年、新しい顧問の先
生とともにミーティングを重ねて掲げた目標
は、大きなものでした。それに向けて緻密な
スケジュール管理のもと、新たな練習も取り
入れながら自分たちの演奏に深く入り込むこ
とができました。

また「一流の高
校生」をキーワ
ードに、挨拶や
返事、時間管理
などの意識改革
も行いました。

吹研として県
大会を十六年ぶ
りに突破し、そ
して迎えた東北
大会本番。初め
てのぼるステー
ジの感覚は、今
でも鮮明に覚え
ています。先生
の指揮と全員の息が揃った瞬間、「僕たちの
十二分間」が始まりました。緊張に始まった
スタートも、ラストには全員が興譲館サウン
ドの一員となり、最後の一音まで楽しむこと
ができました。

結果は銅賞、全国大会出場には届きません
でした。しかし、同じ目標を目指す高校生た
ちの演奏に直接触れ、一緒に音を奏する仲間
や応援してくれる存在に改めて気付くことが
できたこの夏は、皆にとつてかけがえのない
ものになりました。



東北選抜大会に出場して 男子ホッケー部 我妻 聖基

男子ホッケー部は、部員十一名（二年生四
名、一年生七名）と、秋から入部したマネー
ジャー二名で活動しています。少人数ではあ
りますが、その分一人一人の距離が近く、と
ても仲の良いチームです。

私たちは東北大会で勝つことを大きな目標
に掲げ、個人技術の向上を大切にしながら
日々の練習に取り組んでいます。基礎練習を
徹底し、自分の課題と真剣に向き合い、チー

ム全体でレベルアップできるよう努力してい
ます。

東北大会では、これまで思うような結果を
残すことができず、強豪校との実力差を痛感
する場面も多くなりました。しかし、その悔
しさを原動力に、試合で得た課題を克服すべ
く練習に励み、少しずつ成長を重ねてきまし
た。

支えてくださる先生方や保護者の方々への
感謝を忘れず、東北大会での勝利を目指し、
部員全員でこれからも挑戦し続けます。

東北選抜大会に出場して 女子ホッケー部 五十嵐沙優

女子ホッケー部は、東北選抜大会に出場し
ました。試合では、日頃の練習で意識してき
たパスやトラップ、ポジショニングなどの基
礎を大切にし、チーム全体で連携したプレー
を行いました。互いに声を掛け合いながら最
後まで粘り強く戦い、積極的な攻撃や守備を
見せましたが、あと一歩及ばず、惜しくも敗
れる結果となりました。しかし、自分たちの
良さを発揮する場面も多く見られ、これまで
積み重ねてきた練習の成果を感じるものがで
きました。試合を通して、技術面や判断の速
さ、連携面などの課題が明確になり、今後の
練習につなげる貴重な経験となりました。こ
の大会で得た反省を生かし、さらなるレベル
アップを目指していきます。

東北高校新人大会に出場して 陸上競技部 松浦 悠真

私は九月に宮城県で行われた東北高校新人
大会に一〇〇mと二〇〇mで出場してしまし
た。結果は一〇〇mで決勝に進出し八位入賞
を果たすことができました。

今回の大会は、六月の東北総体以来、二度
目の東北大会の舞台でした。初めて出場した

ときの反省や悔し
さがあつたからこ
そ、今回は気持ち
に余裕を持って臨
むことができ、大
きな舞台でも慌て
ず、自分の走りに
集中できたと思っ
ます。

しかし、一〇〇
mの決勝や最終日
に行われた二〇〇mでは思うように力を発揮
できませんでした。ラウンドを重ねる中での
連戦への対応力や体力面の課題を改めて実感
しました。また、他県の選手の高いレベルを
肌で感じ、来年度の大会に向けて大変貴重な
経験となりました。

このような経験ができたのは多くの方々
の応援、サポートのおかげです。支えてくださ
るすべての方々への感謝の気持ちを忘れずに、
来シーズンはインターハイ入賞、県高校記録
更新を目標にこれからも努力を重ねていきま
す。



東北大会初出場、そしてさらなる高みへ バドミントン部 山川 藍良

私たち男子バドミントン部は一月、宮城県
で開催された「全国高等学校選抜バドミント
ン大会東北地区予選」学校対抗戦に出場しま
した。本大会への出場は、男子部として創部
以来「初の快挙」となります。

試合では、日頃の練習で磨き上げた正確な
サーブと、素早いタッチによる攻撃的なプレ
ーを徹底しました。激しいラリーの中でも常
に主導権を握るべく、互いに声を掛け合い、
戦略を共有しながら全力を尽くしました。結
果はあと一歩及ばず惜敗となりましたが、強
豪校を相手に自分たちのプレーを貫き、仲間
と共に大舞台を戦い抜いた感動は、何物にも

代えがたい財産となりました。これまで支えてくださった先生方、保護者の皆様、そしてOB・OGの方々への感謝を忘れることなく、この初出場という一步を大きな自信に変え、次なる目標は「全国大会出場」と、さらなる高みへと到達するため、より一層日々の練習に精進してまいります。



東北と、白帯と

柔道部 小関 藍

私は一月二十四日、宮城県大崎市で行われた第四十八回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会の無段の部に出場した。高校から柔道を始めた私が、東北大会という大きな舞台に立てるとは夢にも思っていなかった。無段の部五十七kg超級には九人が出場した。三ブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロックの勝者三人で決勝リーグが行われた。予選では、ほどよい緊張感の中、相手の動きをよく見て落ち着いて戦い、二試合とも勝つことができた。決勝リーグ一試合目では大技にこだわらずに足技や崩しを十分に使えず、負けてしまった。二試合目では気持ちの切り替え、練習の成果を出して勝つことができた。結果は二位だったが、自分の柔道をするのができた大会だった。一方で、体幹や上半身と下半身の運動など、課題も明確になった。今後はさらに練習に励み、チームの目標である女子県大会ベスト4に向かって、部員一丸となって頑張っていきたい。



令和七年度 部活動 活動報告

文化部

◇ 調理科学部

顧問 安日 恵子
前部長 菊地 智恵子
現部長 渋谷 優里

私たちが調理科学部は、三年生九名、二年生五名、一年生九名の計二十三名で活動しています。普段の部活動では、季節に合わせハロウィンやクリスマスなどの行事にちなんだ献立を自分たちで考え、実習に取り組んでいます。さらに、食物調理技術検定では、一年生が二級、二年生が準一級の取得を目標に練習を重ね、それぞれ調理技術を向上させることができました。茶道体験では、茶道の基本的な作法を学び、日本の伝統的文化を実際に体験することができました。「高校生山形うまいも

の商品開発コンテスト」では、三年生の先輩方や顧問の先生方からのアドバイスをいただきながら、自分たちでレシピを考え、試作を重ね、四つの作品を応募しました。そのうち「ブルーベリーの紅花タルト」がシベール賞を、「いちごこれもん」のビタフルベリヌ」がホテルメトロポリタン山形賞を受賞し、商品化することができました。また、興譲祭では模擬店を企画し、手作りのクルンジと、興譲館と企業さんがコラボしたパウンドケーキやクッキーを販売しました。当日はたくさん



のお客さんに来ていただき、接客や販売の体験をおとして、部員全員で協力して企画をする楽しさと大変さを実感することができました。そして、今年からInstagramでの投稿をスタートし、実習で作った料理や、日々の活動の様子を発信することもできました。今年度は、調理の知識や技術を身につけ、部員全員で仲良く楽しみながら活動できた、いい一年になりました。来年度も、さらに調理の腕を磨きながら、部員全員で協力し合い、活動していきたいです。

◇ 新聞・文芸部

顧問 藤原 洋子
前部長 吉田 香織
現部長 板垣 希咲

新学期が始まり、二年生となった私たちが一番初めに任された最重要任務は新入生勧誘活動でした。貼ったチラシは数知れず。しかし、思ったよりも見学者は現れず、ひとりも入部してくれないかもしれないのではないかと不安でいっぱいの日々でした。入部希望者の二人の顔を見たときは、涙が出るほど嬉しかったです。現在はもう一人増え、一年生の人数は三人になりました。

新任の先生方を紹介する新聞の作成・発行を行いました。文芸班は昨年度の活動を活かし、

文芸誌「無限軌道」の企画として短歌の読み合わせを行いました。三年生の引退後は、興譲祭などのイベントに向けて、それぞれの創作活動に励みました。その中で「無限軌道」の作成は想像以上に難しく、何度も前部長の千葉先輩に泣きつきました。今年度の「無限軌道」では新たな取り組みとして、新聞班の撮影した写真を多く使用し、華やかな作品を目指しました。二班で協力しながらなんとか刊行することができた「無限軌道」はたくさんの方々の手にとっていただき、完成することができました。これからも部員全員で協力しながら楽しく活動していきたいと思っています。

対外的な活動として、全国高校総合文化祭香川大会文芸部門、県高校総合文化祭文芸部門部最北・村山大会、北海道・東北文芸大会秋田大会、県新聞コンクール表彰式・研修会などへ参加しました。大会や研修会に参加することで他校の多くの作品に触れ、また自分たちの作品への講評をいただくことで、多くの刺激と学びを得る機会となりました。これらの経験を今後の創作活動や部活動にしっかりと活かしていきたいと思っています。

最後になりますが、顧問の先生方をはじめ、諸先輩方、活動に協力してくださったすべての方々へ深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

◇ 美術部

顧問 大泉 亜矢
前部長 江袋 晴菜
現部長 石谷 海羽

本年度、美術部は三年生一人、二年生二人、三年生三人の計六人で活動してきました。五月にはナセBAで第三十回OB・OG合同展を行い、「焔—こ—」というテーマを

掲げ、部員一人一人が輝くような作品を展示するという思いを込めました。一年生は初めての油絵で静物画を、三年生は美術部として最後の作品を制作し、最終日に開催したギャラリートークでは、美術部OBの方々から今後の構想を練るヒントを頂くことができました。



十月には、第七十五回置賜地区高校美術展と第七十三回山形県高等学校総合文化祭並びに第四十九回山形県高等学校総合文化祭に参加しました。地区では最優秀賞、特選、奨励賞を受賞し、県では県高美展賞、特選、奨励賞、審査員推薦などの賞をいただき、部員全員が受賞することができました。昨年とは異なり、地区展後に加筆する期間がなくそのまま県に臨むかたちとなりましたが、各々が自身のテーマを突き詰め、達成感や自信を得ることができました。

今回、県高等学校総合文化祭において特選以上の賞を受賞した部員三名は、来年七月に秋田県で開催される第五十回全国高等学校総合文化祭に参加することになります。講評会や生徒同士の交流で新たに発見した課題を踏まえて加筆を続け、納得のいく作品を作り上げていきたいです。

また、同月に山寺での研修旅行を行いました。常々椅子の上で活動している我々にとつては、またとない体を動かす機会でした。無事登頂した後はスケッチや陶芸体験などを楽しみ、部員の技術向上や運動不足の解消に寄与する一日となりました。

今年度も、顧問の先生方や保護者の方々、地域の方々の支えのもと、活動を続けることができました。これからも周囲への感謝や美

術に真摯に向き合う姿勢を忘れず、制作に取り組んでいきます。

吹奏楽研究クラブ

- 顧問 岡本 季実花 大町 香織
- 前部長 吉田 陽 佐々木 凛
- 現部長 鹿野 聖

四月、私たちは新たに本田礼先生、大町季実花先生を顧問としてお迎えしました。また、一年生二十人を迎え、二年生十四人、三年生十七人、総勢五十一人で今年度の活動をスタートしました。

五月には「こどもえんそうかい」を開催し、小学生までのお子様とご家族に、楽器や音楽に触れていただきました。音楽の魅力を伝える貴重な機会となりました。

翌日には第六十回定期演奏会を行いました。節目となるこの演奏会では、現役生に加えOB・OGの皆様にもご出演いただき、七四四人ものお客様をお迎えすることができました。多くの



方々に支えられ、盛大かつ思い出深い演奏会となりました。

その後は、吹奏楽コンクールに向けて基礎の徹底を重視し、日々の練習に励みました。

七月の地区大会では優秀賞・代表、八月の県大会では金賞・代表をいただき、目標としていた十六年ぶりの東北大会出場を果たすことができました。同月、郡山市で行われた東北大会では、部員一丸となって私たちのサウンドを会場いっぱいに響かせ、銅賞をいただきました。OB・OGの皆様、コーチ、先生方、保護者の皆様からの温かいご支援とご指導があつてこそこの結果であり、心より感謝しています。この経験を糧に、「全国大会出場」という新たな目標を掲げ、さらなるレベルアップを目指して日々の練習を積み重ねています。

九月には、これまで私たちが導いてくださった三年生の卒部会を行い、感謝の気持ちを込めてお見送りしました。九月から十月にかけては、さまざまな演奏会に出演させていただきました。ダンス&ブレイや合唱など新たな取り組みにも挑戦しました。踊りと演奏を同時に行うことの難しさに直面しながらも、部員一人ひとりが意欲的に練習を重ね、完成度を高めていきました。また、他校や地域の方々との交流を深めることができ、今後の成長につながる貴重な経験となりました。

十月半ばからはアンサンブルにも取り組み、各チームがそれぞれの良さを最大限に発揮できるように、工夫を重ねながら練習に励んでいます。

一年を通して多くの方々との出会い、私たち吹奏楽研究クラブが多くの方に支えられていることを改めて実感しました。この恵まれた環境への感謝の気持ちを忘れず、来年も再来年も、その先も、私たちは進化し続けていきます。

ESS部

- 顧問 向田 智弘 竹田 瑞靖
- 前部長 小野 しほり 長岡 瑞稀
- 現部長 長岡 瑞稀

今年度は、三年生四人、二年生十五人、一年生十四人の計三十三人で活動してきました。三年生が引退するまでの時間は、H E n D A を会場いっぱいに響かせ、銅賞をいただきました。OB・OGの皆様、コーチ、先生方、保護者の皆様からの温かいご支援とご指導があつてこそこの結果であり、心より感謝しています。この経験を糧に、「全国大会出場」という新たな目標を掲げ、さらなるレベルアップを目指して日々の練習を積み重ねています。

九月には、これまで私たちが導いてくださった三年生の卒部会を行い、感謝の気持ちを込めてお見送りしました。九月から十月にかけては、さまざまな演奏会に出演させていただきました。ダンス&ブレイや合唱など新たな取り組みにも挑戦しました。踊りと演奏を同時に行うことの難しさに直面しながらも、部員一人ひとりが意欲的に練習を重ね、完成度を高めていきました。また、他校や地域の方々との交流を深めることができ、今後の成長につながる貴重な経験となりました。

十月半ばからはアンサンブルにも取り組み、各チームがそれぞれの良さを最大限に発揮できるように、工夫を重ねながら練習に励んでいます。

一年を通して多くの方々との出会い、私たち吹奏楽研究クラブが多くの方に支えられていることを改めて実感しました。この恵まれた環境への感謝の気持ちを忘れず、来年も再来年も、その先も、私たちは進化し続けていきます。

学に触れたり作ったりしています。また、LEAP (英単語帳) やVintage (参考書) を活用し、部員の語彙力向上にも力を入れています。一年目となる今年度は、英語俳句づくりと絵本翻訳、名言の意訳翻訳をしました。英語俳句づくりでは、日本語の俳句との違いに戸惑いましたが、季節やテーマを決め英語を組み立てていくのは新鮮で、楽しく作成できました。興譲祭で、手作りの展示を全員で協力して完成させたのも、いい思い出です。絵本翻訳では、神戸女学院大学様主催の高校生絵本翻訳コンクールに応募しました。本格的な翻訳自体初めてだったので、とても難しかったですが、一人ひとりが自分の言葉で表現しようと真剣に取り組めたので良かったです。名言の意訳翻訳では、それぞれが好きな名言やフレーズを選び、英語にして自分自身が好きなように編集するという活動をしています。これから全員のものを一冊のノートにまとめて英文部ノートを作る予定です。

◆ コアスーパースサイエンスクラブ

- 顧問 高橋 中村 高橋
 前部長 山江 今山 今山 今山
 現部長 栗秋 小栗 小栗 小栗
 小林 恒平

今年度、コアスーパースサイエンスクラブは三年生三十人、二年生十人、一年生九人の計四十九人で意欲的に活動してきました。「東北大学科学者の卵養成講座」に二名、「UTokyoGSCNext」に一名が採択され、それぞれ大学の研究に触れながら、他県の高校生とも交流し知見を広げられました。「やまがたAI部」「山形大学スーパースサイエンズ」

プログラミングスクール」にも参加し、習得した技術を活用して課題解決を目指しました。コンテストでは「World Robot Olympiad Japan」山形県大会に一年生チームが出場しました。また「パソコン甲子園二〇二五」プログラミング部門、「OTIS Made to Move Communities」STEMプレゼンテーション大会」予選に参加し、創意工夫が試される難題に向き合いました。研究では「サイエンスキャッスル研究費二〇二五アサヒ飲料賞」「サイエンスキャッスル研究費二〇二五ものづくりO・THK賞」「河川基金助成事業 ジュニア研究者」「かずさDNA研究所 高校生部活動支援プログラム」に採択され、外部団体による研究資金の補助や経験豊富な方々によるメンタリングを受けながら、より深く研究に取り組むことができました。研究内容は、「第四十九回全国高等学校総合文化祭香川大会 自然科学部門 ポスター発表の部」「研究発表の部(化学)」「日本動物学会東北支部大会」「めーかーズフェスタ二〇二五 de米沢」「山形県高等学校総合文化祭」などさまざまな機会で開催し、研究内容を知らない人にも伝わるよう工夫したり、観覧者との交流を通してその後の研究を進展させたりする良い機会となりました。また、五月以降、二年生が山形大学工学部長を塾長とする「サイエンスリーダー育成塾」に所属し、山形大学工学部の研究室に配属され、大学の先生方や大学院の学生の方々のご指導のもと、それぞれの部員が興味を持った分野の専門研究に取り組みすることができました。この取組のもとで行われた「磁気センサを用いた多自由度回転系の原点検出」の研究が、「令和七年度山形県探究学習課題研究発表会 高文連科学専門部の部」において物理研究領域の優良賞を受賞しました。

社会貢献活動として、「掘立川遊水地バードウォッチング・清掃ボランティア」「身近な川や水辺の健康診断」(水質調査・水生生

物調査)に参加しました。また、南陽市での沖郷小学校・赤湯小学校「放課後子ども教室」、山形市での「二〇二五青少年のための科学の祭典in山形」、米沢市での「南原地区文化祭」などで科学実験教室を行い、子どもたちに科学の楽しさを伝えることができました。人数が多く、個性派揃いの三年生の先輩方が引退してから部員数が半分以下となり、人手が足りず大変なこともありましたが、だからこそ、これまで以上に部員一人ひとりが責任感をもって科学の楽しさの発信や研究活動に打ち込み、成長することができました。

◆ 音楽部

- 顧問 山口 英雄
 五十嵐 康博
 前部長 長谷部 心陽
 現部長 高木 多恵

今年度、音楽部は三年生五人、二年生三人、一年生一人の計九人で活動しました。六月には、置賜地区合唱祭に参加しました。置賜地区合唱祭は、三年生にとっては高校での部活動最後、一年生にとっては高校での部活動最初の発表の場でした。一年生が入部してから約一ヶ月で、新しく五曲を練習し、それぞれの細部にまでこだわりました。本番では、今までで一番良い合唱ができたと思います。外部指導の方からご助言いただいたので、本番中の表情についても、とても良くなっていったように感じました。

三年生が引退し四人体制となった音楽部の初舞台は興譲祭の文化部発表でした。発表では、ここ二年ほど行っていないバンドパフォーマンスを先生方のご協力のもと行いました。部員と先生方、観客の生徒たちが一体となり、開祭式をおおいに盛り上げることができました。また、興譲祭の有志発表では合唱を披露しました。四人体制になったことで、

一人で一つのパートを担当する曲もあり、三年生がいた頃とは違う緊張感をもって本番に臨みました。ステージでは、大きなミスなく練習の成果を発揮でき、部員一人ひとりの自信になったと思います。九月には、二つの老人ホームを訪問し、ボランティア発表を行いました。曲目・進行・演出を部員全員で話し合い、約四十分間の発表会の構想を練りました。普段の二倍以上の曲数を歌うため、技術力、体力、集中力が鍛えられました。当日はどちらの老人ホームでも温かく歓迎していただき、楽しく発表できました。終わり際に利用者の方から「また来てね」とのお声をいただき、活動の励みになりました。

十月十九日には、よねざわステージフェスティバル二〇二五に参加しました。市内の多種多様な音楽団体の方々と、一つのテーマに沿って公演を創り上げる経験は、「音楽部」という名前を背負うわたしたちにとって大きな刺激になりました。そして、十月二十二日には、姉妹校の高鍋高校からいらつしやった方々に、高鍋高校校歌を披露しました。練習できたのは一週間という極めて短期間でしたが、堂々と発表できてよかったです。さらに、十月二十六日には南原地区文化祭に参加しました。興譲館高校の近くで行われたこの文化祭では、他の音楽団体から音楽的な学びを得ただけではなく、運営する地域の方々から地域貢献のさまざまなかたちを学ぶことができました。

今年度、音楽部はかなりの少人数になりましたが、だからこそいろいろなことに挑戦し、成長することができました。来年度は、多くの新入部員を迎え、さらに活発に活動していきたいです。

運動部

◇硬式野球部

顧問 渡邊大也
 前部長 山田慶信
 部長 竹下七靖
 現部長 酒井七穂
 大内優輔

硬式野球部は、三年生六名、二年生六名、一年生十名、マネージャー三名の計二十五名で活動を開始しました。「公立校から甲子園」を目標に掲げ、日々の練習に励みました。

春季県大会では、昨秋の県大会で敗れた羽黒高校と三回戦で秋のリベンジを果たすべく対戦しました。しかし、自分たちのミスが目立ち、攻め動く野球をすることができずに七回コールド負けという悔しい結果となりました。

夏の選手権大会では、何としても目標を達成するべく、全員野球で戦い抜きました。三回戦、酒田南高校戦では全校応援の中、今までで最も内容の良い試合を展開することができました。春季県大会ではできなかった自分たちから攻め動く野球を実践することができました。一―四で敗退とはなりませんが、二年生にとつては新チームに繋がる貴重な経験となりました。

選手権大会後まもなく、目標に向かって困難を恐れず、ひたすら突き進む「勇往邁進」をスローガンに掲げ、新チームが発足しました。三年生がいなくてもチーム全員で練習に励みました。

一、二年生での初めての大会である秋季県大会では、自分たちから攻め動き、私立相手にも正面からぶつかり、戦い抜く気持ちで臨みました。しかし、自分たちのミスや相手の

ヒットなどで失点してしまい、五回コールド負けという課題が多く残る結果となりました。今後は大会で出た課題を一つずつ改善していき、一人ひとりのスキルを磨き、チーム力を向上させていけるよう日々の練習を頑張っていきたいと思えます。そして、日頃から応援してくださる保護者の方々、OB・OGの方々、先生方への感謝を忘れず、「公立校から甲子園」という目標達成をもって恩返しできるように努力していきたいと思えます。

◇陸上競技部

顧問 藤大気
 前部長 野川裕太
 部長 松浦悠真

今年度、陸上競技部は三年生十九人、二年生六人、一年生十五人で活動をスタートしました。

三年生にとつて集大成となった県高校総体では、大会当日は好天に恵まれ、選手一人ひとりが持てる力を最大限に発揮しました。その結果、三名が東北総体への出場権を獲得し、これまで積み重ねてきた練習や努力の大切さを改めて実感する大会となりました。大会では記録だけでなく、仲間と声を掛け合いながら競技に向き合う姿勢や、最後まで諦めず挑戦する重要性も学ぶことができました。

新体制となった私たちは、先輩方から受け継いだ練習や経験を力に、チーム全体で高い意識を持って取り組みました。一回一回の練習を大切に、互いに声を掛け合いながら目標に向かって集中して準備を重ねた結果、県新人大会ではチーム一丸となって競技に臨み、三名が東北新人大会への出場を果たしました。大会をおして、仲間と支え合うことの尊さや、自分たちの力を信じて挑戦することの意

義を改めて感じました。

この大会で得た学びや気づきを感じ、日々の練習に生かしてさらなる記録や成果につなげていきたいと思えます。これからも高い目標を胸に挑戦を続け、チーム全体で力を合わせて成長していく決意です。そして、日頃から支えてくださっている先生方やコーチ、保護者の皆様、応援してくださるすべての方々に心より感謝申し上げます。皆様の支えがあつてこそ、私たちは競技に全力で向き合うことができました。今後も感謝の気持ちを胸に、毎日の練習を仲間とともに楽しみながら、チーム一丸となつてさらなる高みを目指してまいります。



◇バレーボール部

顧問 後藤由香
 前部長 市ノ渡満与
 部長 舟腰恰次郎
 現部長 今野伯宥

今年度のバレーボール部は、選手十四名、マネージャー四名で活動を開始しました。「レシーブからの切り返し」を重点目標に掲げ、日々の練習に取り組み、県高校総体に臨みました。試合では最後まで粘り強くボールを追い続けましたが、山形南高校の力強い攻撃に対応しきれず、一回戦敗退という結果となりました。

その後、新体制のもと新たに「県大会ベスト8」を目標に設定し、活動を再開しました。新チームとして初めて迎えた公式戦である春高バレー地区予選では、選手の体調不良や試合中の負傷が重なり、県予選出場が危ぶまれる厳しい状況となりました。しかし、チーム全員が互いに支え合い、最後まで集中力を切らさずに戦い抜いた結果、三位という成績を収め、県予選出場権を獲得しました。

その成果として、十一月に行われた地区新人大会では、これまでの取り組みが随所に表れました。二十点以降の重要な場面では、ミスを最小限に抑え、一つ一つのプレーを丁寧に行う姿勢が見られるようになりました。また、これまで十分とは言えなかった選手同士の声かけや状況確認も積極的に行われ、チーム全体でプレーを支え合う意識が高まりました。その結果、接戦の場面においても落ち着いて試合を進めることができ、試合運びの面で大きな成長が感じられる大会となりました。

米沢中央高校には敗れましたが、地区二位という成績を収め、勝利を目指す姿勢と試合運びの重要性を改めて確認することができました。今後も「県大会ベスト8」という目標の達成に向け、プレーの質の向上に努めるとともに、バレーボールに真摯に向き合い、勝利を目指すチームづくりを進めていきます。あわせて、日頃より支えてくださっている保護者ならびにOBの方々への感謝の気持ちを大切にし、今後も日々の活動に全力で取り組んでいきます。

◇バドミントン部

顧問 西智広
佐藤好由
前部長 渡部夢人
現部長 高橋真央

今年度私たちは一年生十二名、二年生十名、三年生十六名で活動してきました。顧問の先生や外部コーチの近藤洋二コーチ等の指導のもと、一人ひとりが目標を持って練習に励んできました。定期的にミーティングを行い、部活動に取り組む態度や全体での目標の確認をし、より質の良い練習ができるように、県大会で上位入賞し次の大会に進めるように練習を頑張ってきました。また、練習試合や遠征などを多く組んでいただき、社会人の方々や他校と試合ができる機会が多かったため、経験値をあげプレーの質を向上させることができました。

地区高校総体では男女団体、男女ダブルス、女子シングルスで優勝し、昨年に引き続き五冠となりました。この他にも上位入賞者が多くいました。全員が全力で戦い、チームで応援し合って良い雰囲気大会を終えることができました。

県高校総体では、男子団体と女子ダブルス、女子シングルスでベスト8と思うような結果を残すことができず、悔しい結果となりました。しかし、全員が全力で応援もプレーもでき、悔いの無い試合ができました。この大会で三年生は一区切りとなり、新体制での部活動がスタートしました。三年生の存在の大きさを感じながらも次の大会に向けて気持ちを切り替え、県高校総体の悔しさをバネに練習に励みました。

新体制になって初めての大きな大会である地区新人大会では、全種目優勝し念願の六冠を達成することができました。良い成績を残せましたが、大会での応援の声の大きさや挨拶

などの課題も見つかりました。より良い練習にするために大会での態度の反省もふまえてミーティングを行いました。これからの目標を決め、県新人大会まで新たな気持ちで練習に励みました。

県新人大会では男子団体でベスト4に入り興譲館高校男子では初となる東北大会出場を決めました。個人戦では女子シングルス三位という結果でした。去年の悔しい結果からここまで成長できたのは、興譲館高校バドミントン部のOBの方々の支援や先生、コーチの指導のおかげです。

今年度の部活動では、地区新人大会での六冠や県新人大会での男子ベスト4など良い成績を残すことができました。これは私たちの自信になるとともにプレッシャーにもなりません。今年度、良い成績を残せた人も残せなかった人も興譲館高校バドミントン部として更に団結し、常に向上心と責任感を持ち、日々の活動に取り組んでいきます。また、日頃から支えてくださる先生やコーチ、家族やOBの方々などへの感謝の気持ちを忘れず、一生懸命練習に取り組んでいきます。

◇サッカー部

顧問 伊藤謙汰
丸山光輝
前部長 高世脩斗
現部長 鈴木希望

今年度は、三年生十二名、二年生九名、一年生八名、マネージャー三名の総勢三十二名で活動をスタートし、本校サッカー部の目標である「県大会出場・Y2昇格」の実現に向け、チーム一丸となって日々の練習に取り組んできました。地区高校総体ではリーグ戦を勝ち抜き、トーナメント戦では九里高校と戦い、〇―で敗戦し、三位という結果で県高校総体出場を果たしました。県高校総体では

初戦は惺山高校と対戦し、PK戦で十一人目までもつれる激戦の末、九―八で勝利し二回戦進出を果たしました。しかし、羽黒高校との二回戦で惨敗し、これをもって三年生が引退となりました。

新チームになった私たちは、新人大会や選手権での勝利を目標に掲げ、日々の練習に励みました。しかし、Y3リーグでは怪我などで戦力を欠くことが多く、思うように勝利を積み重ねられず、もどかしい試合が続きました。そこで、基礎的な能力向上を目指し、夏の強化期間には個人スキルやチームプレーを高めるトレーニングに取り組みしました。このようなトレーニングを糧に迎えた県新人大会一回戦の酒田南高校戦では、夏のトレーニングの成果を出し粘り強く戦い、目標であった勝利を手に入れることができました。この勝利は自分たちの自信に繋がる大事な勝利でこの試合を通じて成長することができました。

来シーズンでは、目標達成に向けてチームとしての共通認識をさらに深めるとともに、個々のスキルを高めていきたいです。また、サッカーができるこの環境が当たり前ではないことを忘れず、日頃から支えてくださる先生や保護者の方々への感謝の気持ちを忘れずにプレーしていきます。そして、歴代の先輩方を超える圧倒的な成績を残せるよう、日々の練習に励みながらサッカーを楽しんでいきたいと思えます。

◇バスケットボール部(男子)

顧問 小田澤 広樹
福島 薫
前部長 若月 優介
現部長 菊地 颯太

僕たちバスケットボール部は、六月の県高一校総体までは一年生二人、二年生二人、マネージャー一人を含む三年生九人の合計十三人



で活動しました。地区高校総体や県高校総体に向けて、チームとしてのプレーに磨きをかけ、実戦に近い練習を多くすることで、試合を意識した練習を行いました。チームの中の自分の役割を理解して練習できました。

五月の地区高校総体では第四位、六月の県高校総体では二回戦敗退でした。三年生引退後は、一年生二人、二年生三人の合計五人で活動しています。五人というとても少ない人数でもできることを模索しながら練習し、五人で一試合走り切る体力をつけることを意識して練習に励みました。夏には、リーグ戦やほかの学校との練習試合をする機会が多くあり、その中で出てきた体力的・技術的な課題に対して、五人でどうすればいいかを考え、試行錯誤しながら活動してきました。夏のリーグ戦では、一日二試合を五人で戦い抜くことができました。現在も平日は活動時間が短く、毎日フルコートでの練習ができなかったり、五対五の練習ができなかったりなど、練習内容に制限はあるものの、自分たちの課題に向き合っ必要練習を考え、個人のスキルの向上につながるようなメニューで活動しています。少ない人数だからこそ、学年の壁を感じさせないような雰囲気練習

できるのが最大の利点です。十一月の地区新人大会では、野球部の力をお借りし、野球部員三人とマネージャー一人にメンバーとして出場していただきました。会場には野球部全員が応援に来てくれました。そのおかげで地区四位になることができました。また、県新人大会では、さらに野球部一人を追加でエントリーしてもらい、出場する

ことができました。残念ながら一回戦突破はなりませんでした。今年度は目標に向かって活動することができました。

今年度は目標に向かって活動することができました。練習中も互いにアドバイスあったり、鼓舞しあったりすることで全員で雰囲気を作り、意識と練習の質を高めました。来年度には多くの新入部員が入部することを心から願いつつ、県高校総体で満足できる結果を残すためにも、今できること、しなければならぬことを意識して有意義な活動にしていきたいと思

バスケットボール部(女子)

- 顧問 小林 啓明
前部長 青木 雅仁
現部長 島貫 柚奈

今年度、女子バスケットボール部は三年生六名、二年生二名、一年生七名で始動しました。地区優勝を目標として臨んだ地区高校総体では、初戦の米沢鶴城高校戦に勝利し、準決勝に進出することができました。準決勝では九里学園高校と対戦し、相手のスピードや勝負強さに圧倒され、悔しい敗戦となりました。それでも、三位決定戦の高島高校戦では、終盤に差をつけてしっかりと勝ち切る事ができました。続く県高校総体では、初戦の酒田光陵高校戦に勝利し、二回戦で県王者である山形中央高校と対戦しました。結果は大差での敗戦となってしまいましたが、自分たちのやってきたプレーができるように、最後まで気持ちを切らさずにプレーすることができました。三年生との部活動はとても楽しく、プレーの面でもプレー以外の面でもいつも私

のやりたいことがやらせてもらえなかったり自分たちのミスで勝ちを逃したりと、上手くいかないことが続きました。夏の間は多くの練習試合を重ね自分たちの課題が明らかになったものの試合の中で改善することができず、試合への入り方や遂行力など戦術的な部分以外の課題も多くありました。三年生がいた頃の部活動と比べてプレー中のコミュニケーションが取れていないことによる連携の失敗も目立ち、苦しい時期でしたが、個人やチームで課題に向き合いやるべきことを全員で考える期間にもなりました。ウィンターカップ県予選では山形明新館高校に大差で敗戦し、相手の強さの高さや自分たちのチームとしての完成度がまだまだだということを感じました。改めて自分たちがやるべきことは何か、チームスローガンである「ワクワクが最強」を体現するにはどうしたらいいかということそれぞれ考えながら練習を重ねました。地区高校新人大会では、初戦で南陽高校と対戦し、競った展開の中三点点差で敗れてしまいました。夏の課題が克服できた部分もあり、収穫もありましたが、僅差のゲームを勝ち切れないという新たな課題も生まれました。改善できた部分はこれから伸ばしていきたい、改善できていない部分や新たな課題についてはこれからの時間で成長していけるよう、実戦を意識して簡単なミスが減らせるような練習をしていきたいと思



今後、日々支えてくださっている先生方や保護者の方々に始め、応援してください。いる方々への感謝を忘れず頑張りたい

と思います。

ソフトテニス部(男子)

- 顧問 深谷 健博
前部長 酒井 心
現部長 青木 昂太郎

本校ソフトテニス部男子は今年度三年生二人、二年生一人、一年生四人で活動してきました。部員全員が日々の練習に真剣に取り組み、個人、団体ともに県高校総体に出場することができました。三年生が引退後は二年生が一人増えました。また少人数ながらもそれぞれが自分に足りない部分を考えて全員でコミュニケーションをとり、やるべきことを考え日々上達できるように練習してきました。

県新人大会団体戦では二回戦で東海大学山形高等学校と対戦し、慣れないペアや大会のプレッシャーに対応できないまま相手のペースに押されてしまい〇対三で敗退となりました。良いプレーもあった中で小さなミスが多く目立ち、調子をあげきれないまま終わってしまいました。チーム全員で勝つこと、難しさなど、実力的な面でも精神的な面でも多くの課題が見つかる大会となりました。これからの練習で改善していきたい地区高校総体に向けて更なるレベルの向上を目標に、日々支えてくださっている方々への感謝を忘れずに努力を重ねていきたいと思

ソフトテニス部(女子)

- 顧問 今藤 輝
前部長 佐藤 征多郎
現部長 富田 泉海

員で成長すること」を目標に、日々の練習に取り組んでいます。女子部員同士の仲が良く、明るく前向きな雰囲気の中で、互いに高め合いながら活動しています。部員一人ひとりが目標を持ち、技術面だけでなく精神面の成長も大切にしながら練習に励んでいます。平日の放課後や休日の練習では、ラリーやサーブ・レシーブ、前衛・後衛の動き、試合形式の練習を中心に行い、実戦で生かせる力を身に付けています。特に基礎練習を重視し、安定したプレーができるよう繰り返し練習しています。練習中は声を掛け合い、良かった点や改善点をその場で伝え合うことで、チーム全体の意識向上につなげています。これまでの活動の中で、私たちは多くの場面で三年生の先輩方に支えられました。遠征で宿泊を伴った大会では、試合だけでなく移動中や宿で過ごした時間も大切な思い出となっています。試合を終えた夜に、みんなで花火をしたことは、緊張から解放され、自然と笑顔になれるひとときでした。その時間が、部員同士の距離をさらに縮めてくれたと感じています。また、先輩方と交わした何気ない会話も、心に残る大切な思い出です。テニスの話だけでなく、学校生活や将来のことなどを語り合い、技術面だけでなく気持ちの面でも多くのことを学びました。先輩方には、感謝の気持ちでいっぱいです。大会や練習試合では、日頃の練習の成果を発揮できるよう、最後まで諦めず粘り強くプレーすることを心がけています。思うような結果が出ない試合もありますが、試合後には反省を共有し、次に向けた課題を確認することで成長につなげています。緊張している仲間を励まし、ミスをしてしまった時に支え合うなど、チームワークを大切にしています。部活動を通して、技術の向上だけでなく、礼儀や挨拶、仲間を思いやる気持ち、責任を持つて行動する大切さを学びました。三年生

の先輩方が引退された今、その存在の大きさを改めて実感しています。この校誌が三年生にとっては卒業に際しての最後の『興譲』です。これまでソフトテニス部を支え、導いてくださった先輩方に、心から感謝の気持ちを伝えたいです。そして、日々の練習や試合を一番近くで支えてくれた家族の存在があったからこそ、私たちは部活動を続けることができました。また日々の活動を支え、指導してくださった顧問の先生やコーチにも感謝しています。多くの方々を支えを力に変え、これからも目標に向かって努力を続けていきます。

◆フェンシング部

- 顧問 高田和典
 前部長 秋葉健志
 部長 有賀友亮
 現部長 井上颯一朗

今年度、私たちフェンシング部は、三年生五名、二年生十名、一年生四名の計十九名で始動しました。六月の県高校総体では、前年に悔しい思いをした相手に対して、肉薄する試合、劇的な勝利をおさめた試合などが多くありました。団体戦では全国への切符をつかめなかったものの、六月の東北高校総体の男子個人エペでの入賞、そして全国高校総体の女子個人エペでの三位獲得など、より高いレベルの相手にも果敢に立ち向かい、自分らしいプレーをすることの大切さを学ぶことができました。

県高校総体の終了と時を同じくして、新体制がスタートしました。私たちは、常に誰かの後輩として部活動に臨み、先輩方が何をしていたかもある程度心得ていたつもりでした。しかし、いざ部活動を引く張っていき立場になると、途端に見える景色、見るべき視野が広がったように感じ、不安を感じるものが

ばしばしばありました。また、部員それぞれの部活動に求める理想はしばしば異なりをみせ、理想と現実との食い違いに頭を悩ませることもありました。

とはいえ、そんなことはありません。部活動全体としての絆は強固であり続け、各々の異なる課題に練習で取り組む姿勢は変わることはありませんでした。また、外部での練習会、大会への参加をとおして、多くの経験を積むことができており、練習にも活かしています。

先日、全国高等学校選抜フェンシング大会北海道・東北予選会が行われ、男女ともにエペ団体が全国大会への出場を決めました。フェンシング部として、これら上位大会に出場するにあたり、そして来年にもつなげていくために、顧問の先生方や家族など、私たちを支えてくださっているすべての方々への感謝を忘れず、今後さらに高いレベルの練習に取り組んでいきます。

◆卓球部

- 顧問 山口憲武
 前部長 遠藤佑馬
 部長 濱田空良
 現部長 濱田空良

今年度、興譲館高校卓球部は男女合わせて三年生五名、二年生十名、一年生九名の計二十四名で活動しました。県高校総体では、男子団体が一回戦敗退、女子団体が三回戦敗退となりましたが、多くの部員がシングルスやダブルスで県大会に出場することができました。

三年生が引退したあとの新体制では、練習の最初にサーブ練習を取り入れるなど、自分たちの課題の克服を目指しました。また、多球練習ではフットワークを意識して行うことで、普段の練習から本番のように足を動かす

ことを目指しています。県新人大会では、男女ともに一回戦敗退でした。そのような中でも、格上の相手に奮闘し、練習の成果を發揮することができました。

今後は、自分たちの強みである「仲の良さ」と「応援」でトリガーをつくり、興譲館高校らしいプレーに繋がっていきます。そのような小さな基礎基本が積み重なって、サブプリミナル効果のように大きな効果になると信じて練習を積み重ねていきます。

◆山岳部

- 顧問 菊地篤
 前部長 今野優心
 部長 根津夢耀
 現部長 根津夢耀

令和七年度の米沢興譲館高校山岳部は三年三人、二年生一人の合計四人での活動が始まりました。年始は、例年通り山岳部の部報「山男」の執筆から始まり、その後は雪上歩行訓練や筋力や体力をつけるためのトレーニングを行い、次のシーズンに安全な登山行動をすることを目標として活動しました。五月に行われた地区高校総体では男女ともに第一位という結果でした。しかしながら、三年生を含めた最後の大会である県高校総体ではこれまで疎かにしていた細かいミスが積み重なり、課題が山積みであるという現実を突きつけられました。



新体制になってから参加した地区新人大会においてはコース短縮、県新人大会においては登山行動が中止とどちらの大会も天候に恵まれません、これまで積み重ねたものを完全に生かすことができず、残念でした。また、前代未聞の異常気象やクマの出没が相次いだことで登山行動が制限され、悔しさが残り残りました。自然に左右される登山の性質をより深く理解し、興譲の精神に基づいて活動を重ねていき、研鑽していきたいです。そして、来年の県高校総体にすべてをぶつけ、悔いが残らないようにしたいです。

◆柔道部

- 顧問 荒井ゆり子
 前部長 小関藍
 部長 小関藍
 現部長 小関藍

三年生の引退後は新たに入学した一年生八人を入れて部員九人となり、心機一転して活動を再開しました。旧体制のもとで出た反省点を踏まえ、日頃の活動を通して登山に関する基本的な知識や技術を身に付けることを最優先の目標としました。体力や筋力の増強だけでなく、炊事やテント設営、天気図を書くなどの活動を行いました。また、活動をしていく中でうまくいかないことや失敗すること

米沢興譲館高校柔道部、今年度は二年生二人に新入部員の一年生二人を加え、計四人で活動がスタートしました。昨年度は、柔道経験者の顧問の先生がいらっしゃらず、本格的な柔道の練習は週末や長期休み期間しかできませんでしたが、今年度新たに顧問についてくださった先生は柔道経験者で、平日の練習



から充実した練習ができるようになりました。今年度の前半のメインは「県高校総体」。それぞれの目標に向け、日々の打ち込みにより真剣に取り組んだり、遠征や平日の乱取りの本数を増やしたりして、より実践に近い練習を増やして活動してきました。迎えた本番、男子個人戦六十kg級では第二位をとることができました。しかし、女子団体戦・個人戦では、自分の思うような試合ができず、悔しい思いをしました。大会を終え、私たちは改めて、「何を目標にするのか」ということを話し合いました。これまで、私たちは「自分の目標に向かって頑張る」や「それぞれのやりたい柔道、自分の柔道をやる」といった、おおまかな目標しか決めていませんでした。

差が、勝敗に大きく関わっています。話し合っ後、日々の打ち込みなどの練習に加え、腕立てや腹筋などの基礎トレーニングを毎日行うようにし、どの練習に対しても、絶対に勝つという意識をもって臨みました。そして迎えた「県新人大会」、そして「全国高等学校柔道選手権山形県予選大会」では、技を多くかけた後、組み手を意識したりし、前の大会よりもいい試合をすることができました。しかし、まだまだ課題も多くあります。これからも、自分の課題と向き合い、絶対に勝つという意志のもと、来年の「県高校総体」での女子団体BEST4を目標に、日々の練習に打ち込んでいきたいと思っています。

◆ 剣道部

- 顧問 松村 宜典
- 前部長 松井 恭子
- 前部長 新保 彰人
- 現部長 永岡 叶羽

四月に新一年生の部活動への入部、六月に先輩方の引退を経て、私が米沢興譲館高等学校剣道部の代表となつてから、約六か月が経ちました。この半年間を振り返ると、日々の稽古や試合、部活動の運営など、多くの出来事がありました。その一つひとつをとおして、松村先生、松井先生、先輩方をはじめ、共に稽古に励む同級生や後輩、そして周囲の方々に支えられてきたことを、改めて強く実感しています。

今考えると、あの試合後泣いたのは先輩方からそれだけのものをもらってきたからなのだと思います。これからは先輩からもらったものを、そしてその繋がりを大切にしていきたいと思っています。

また、先輩方が受験勉強に専念するために剣道を引退されてからは、部の代表となり、部を引っ張る責任をより強く意識するようになりました。自分が部長として本当にふさわしいのかと深く悩み、不安を抱えた時期もありました。しかし、後輩たちが一生懸命稽古に取り組み、自分についてきてくれる姿とおして、自分も前を向いて進んでいこうと、決意することができました。現在は、部長としての役割を自覚し、部員一人ひとりに目を配りながら、前向きに活動しています。

さらに、日頃から稽古のご指導や応援をしてくださっているOB・OGの方々にも、深く感謝しています。先輩方の言葉や姿勢は、私たちの活動の原点であり、引き継いでいくべき伝統でもあると自分は考えています。また、いつも自分たちを支えてくださる保護者の皆さまにも心から感謝しています。稽古や遠征を続けることができるのは、家族のご理解とご協力があるからこそだと感じています。これからもその感謝の気持ちを結果で示すため、そして自分たちのさらなる成長を目指して部員一人ひとりが心一つにして稽古に励んでいきます。私自身も部長としての責任を果たし、仲間とともに強く、そして誇れる興譲館剣道部を築いていき、次の代へと繋いでいきたいです。

◆ 弓道部

- 顧問 村上 由樹
- 前部長 佐藤 由惟
- 前部長 堤 樹
- 現部長 佐藤 漣

弓道部は、「千射万箭悉皆新」という言葉をスローガンとし、毎日の部活動を行っています。千射万箭悉皆新という言葉は馴染みがないかもしれませんが。これは、何本射を行ったとしても常に新しい気持ちで一射一射捨てることなく、考え抜いて引くという意味です。このスローガンの元、私達は毎射毎射考えることを止めずに、射を行うごとに自分が成長することができるように練習を行っています。主な練習内容は、五人一組で二手（矢四本）を射る「立」と呼ばれるものと、一手（矢二本）をもち、自由にどんどん射る「つけ矢」です。また、通常月末には「月例射会」と呼ばれる部内大会を行います。

私個人として、弓道を一年以上してきて感じたことは、まず弓道は忍耐力が非常に問われる競技だと言うことです。弓道では、手元の1cmのズレが的に向かう過程で十〜二十cmほどに大きくなるということは珍しくありません。また、狙っている（的の中でようとす）という心は、力みにつながり、あらぬ方向へ矢が飛んでいってしまう元になります。そこで教わるのは、中てることより射の形や心構えを整えることに関してです。整った射形で、中てることを考えずに発した矢は、なぜか自ずと的に向かってくれます。弓道の言葉の中に、「正射必中」があります。その意味は、正しい射は必ず的に中たるというものです。それがとても難しく、少し中てたいと考えるだけで、的をかすめたり、はたまた完全にそれしてしまうので、どれだけ自分の欲と向き合うかが重要だと言われています。

以前に人として大切な基本中の基本です。まずは自分を律すること、それが、よりよい練習をする上で重要なことだと考えます。また、精神面の強化に関して、私たちは、自分たちは公立校で、私立校の人たちや部活を本気でやってきた人には勝てない、負けても仕方がない、と思っている節があります。しかし、その意識の差、絶対に勝つのだという意識の

六月の三年生にとっては最後の試合となる県高校総体では、自身の不甲斐なさからよい結果が出せず試合で負けてしまいました。試合後、これで先輩方とは最後なのだと思うと、悔し涙が止まりませんでした。三年生の先輩方からは、数え切れないほどたくさんのお叱りやアドバイスをいただきました。それは私たちの思い出であり、学びであり、伝統と呼べるもので

次に、弓道は探求心が求められる競技であり、



ると感じました。例えば、自分の欲に敗北し、「会」と呼ばれるいわゆる溜めの時間が一切なく、一瞬にして矢を發してしまふ「早気」という病があります。この状態になると、中たならなくなるのに加え、意図せず弦を離してしまうため、怪我をする可能性が高くなります。これを改善するためには、いつもと違うところに力を入れてみたり、的を見ないようにしたりなど、一射一射試行錯誤を繰り返します。様々なスポーツの中でも探求性が高いことが弓道の魅力だと思えます。

我々のチームは華々しい結果を残せた大会はまだ少ないですが、日々の一射に重きを置き、練習に取り組んでいます。これからもその精神を蔑ろにせず、頑張っていきたいと思います。

◆ ホッケー部 (男子)

顧問 小池 公善
今崎 徹郎
手塚 聖剛
前部長 我妻 聖基
現部長 我妻 聖基

男子ホッケー部は、部員十一名(二年生四名、一年生七名)と、秋から入部したマネージャー二名で活動しています。少人数ではあ

りますが、その分一人ひとりの距離が近く、とても仲の良いチームです。

私たちは、ライバル校を倒すことを目標に、一人ひとりの個人技術の向上を大切にしながら、日々練習に励んでいます。基礎練習を重ね、自分の課題と向き合い、互いに高め合える雰囲気の中で活動しています。

今年度の地区高校総体・県高校総体では、対戦校が一枚のみという状況の中、これまでその壁を越えることができず、悔しい結果が続いています。しかし、その悔しさをバネに、地区新人大会、県新人大会、全国高校選抜東北地区予選への出場を通して経験を積み、少しでも差を縮めようと努力を重ねてきました。

私たちの最終目標はインターハイ出場です。簡単な道ではありませんが、支えてくださる先生方や保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、部員全員で力を合わせ、目標達成に向けてこれからも挑戦し続けます。

◆ ホッケー部 (女子)

顧問 今崎 徹郎
小池 公善
手塚 聖剛
前部長 五十嵐 沙優
現部長 五十嵐 沙優

女子ホッケー部は、現在一年生七人、二年生七人の計十四人で活動しています。今年度は三年生が在籍しておらず、少人数ではありますが、部員同士で支え合いながら日々の練習に励んでいます。明るく仲の良い雰囲気のことで、学年の垣根を越えて声を掛け合い、チームワークを大切に活動を行っています。

今年度は、地区高校総体、県高校総体、東北選手権大会に出場しました。これらの大会では、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮するとともに、自分たちの課題を見つ

けない中でも試合経験を重ねることで、部員一人一人の責任感が高まりました。その後は、地区新人大会、県新人大会、東北選抜大会に出場しました。新人大会では、これまで以上に基礎を大切にプレーを意識し、パスやトラップ、ポジショニングなどの基本技術の向上に力を入れてきました。練習では、互いにアドバイスをし合いながら、全員で同じ目標に向かって取り組んでいます。

今後の目標は、鶴城高校に勝利し、インターハイに出場することです。基礎を大切にしながら、明るさと仲の良さを強みに、チームとしてさらに成長できるよう努力を続けていきます。

◆ スキー部

顧問 坂野 理絵
秋葉 健志
前部長 山口 貴弘
現部長 安部 梨緒奈

今年度、スキー部は競技の特性上、他の部活動と比べてシーズンの終了が早く、六月をもって三年生が二名が引退し、現在は二年生二名で活動しています。引退した三年生はそれぞれ受験に向けて日々努力をしています。

私たちはオフシーズンにおいて、一人ひとりがそれぞれの競技力向上を意識した活動に積極的に取り組んできました。雪上練習ができない期間には、基礎体力や持久力、筋力を維持・向上させることを目標とし、自転車でのサイクリング、水泳、体幹トレーニングなどさまざまなトレーニングを行いました。

このオフシーズンではインターバルトレーニングをとおして体力的にも精神的にも非常に厳しく、途中で苦しくなる場面も多かったのですが、自分のペースで走り切ることを意識しました。この経験から、苦しい状況でも集中力を切らさずに、長い滑走にも対応でき

る力につながったと感じています。そのほかにも、校内の廊下を使った体幹トレーニングや階段ダッシュ、マット運動などを行い、全身をバランスよく鍛えました。特にこのオフシーズンではインターバルトレーニングをとおして体力的にも精神的にも非常に厳しく、途中で苦しくなる場面も多かったのですが、自分のペースで走り切ることを意識しました。このことから、苦しい状況でも集中力を切らさずに耐える精神力が養われ、長い滑走にも対応できる力につながったと感じています。

体幹トレーニングでは、しっかりと正しい姿勢で行うことを意識し、取り組み、階段ダッシュでは瞬発力や心肺機能の向上を図りました。マット運動では身体の使い方や柔軟性を意識し、けがをしにくい身体づくりにもつながりました。また自分の競技特性や課題を意識しながら、自分の弱点を分析し、それを強化するためにどのようなトレーニングが必要かを考え、内容や負荷を工夫しながら各々が自主的に自分にあつたメニューを組み立てて実践しました。

これらのオフシーズンの取り組みのおかげで、昨年のシーズンから期間が空いた後でも、滑り始めから安定した滑走をすることができたと感じオフシーズンの活動の大切さを実感しました。これからのシーズンでは、日頃から指導して下さる先生方やコーチ、そして支えて下さる保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も活動に取り組んでいきたいと思います。

令和7年度置賜地区高等学校総合体育大会各競技学校対抗成績一覽

No.	種目名	男 子			No.	種目名	女 子			
		優勝	2位	3位			優勝	2位	3位	
1	陸上競技	九里学園	米沢中央	長 井	1	陸上競技	九里学園	米沢中央	米沢興譲館	
2	登 山	米沢興譲館	米沢鶴城		2	登 山	米沢興譲館			
3	剣 道	米沢中央	米沢鶴城	九 里	3	剣 道	米沢中央	米沢興譲館	九 里	
4	柔 道	米沢中央	置賜農業	米沢鶴城	4	柔 道	米沢中央	置賜農業	米沢興譲館	
5	弓 道	長 井	米沢興譲館	米沢鶴城	5	弓 道	米沢興譲館	米沢東	長 井	
6	バスケットボール	米沢中央	長 井	米沢鶴城	6	バスケットボール	長 井	九里学園	米沢興譲館	高 畠
7	バレーボール	米沢中央	長 井	米沢興譲館	7	バレーボール	米沢中央	長 井	南 陽	
8	サッカー	米沢中央	九里学園	米沢興譲館	8	サッカー				
9	ソフトボール				9	ソフトボール	米沢中央	長 井	南 陽	長工・九里・東桜
10	ソフトテニス	米沢中央	米沢鶴城	米沢東	10	ソフトテニス	米沢中央	長 井	高畠・長工	米沢興譲館
11	卓 球	米沢中央	九里学園	米沢興譲館	11	卓 球	米沢中央	米沢興譲館	長 井	米沢東
12	バドミントン	米沢興譲館	長 井	米沢鶴城	12	バドミントン	米沢興譲館	長 井	米沢東	九里学園
13	フェンシング	米沢東	米沢興譲館	高 畠	13	フェンシング	米沢東	米沢興譲館		
14	ホッケー	置賜農業	米沢興譲館		14	ホッケー	米沢鶴城	米沢興譲館		

令和7年度置賜地区高等学校新人体育大会各競技学校対抗成績一覽

No.	種目名	男 子			No.	種目名	女 子			
		優勝	2位	3位			優勝	2位	3位	
1	陸上競技				1	陸上競技				
2	登 山	米沢鶴城	米沢興譲館		2	登 山	米沢興譲館			
3	剣 道	米沢中央	米沢興譲館	九里学園	3	剣 道	米沢中央	米沢興譲館	九里学園	
4	柔 道	米沢中央	置賜農業	米沢鶴城	4	柔 道	米沢中央	米沢興譲館	置賜農業	
5	弓 道	米沢鶴城	米沢興譲館	長 井	5	弓 道	米沢東B	米沢東A	南 陽	
6	バスケットボール	長 井	米沢中央	米沢鶴城	6	バスケットボール	九里学園	長 井	南 陽	米沢鶴城
7	バレーボール	米沢中央	米沢興譲館	長 井	7	バレーボール	米沢中央	長 井	南 陽	
8	サッカー				8	サッカー				
9	ソフトボール				9	ソフトボール	米沢中央	南陽・長井・長井工業合同		
10	ソフトテニス	米沢中央	米沢鶴城	米沢興譲館	10	ソフトテニス	米沢中央	米沢興譲館	長 井	米沢東
11	卓 球	米沢中央	米沢興譲館	米沢鶴城	11	卓 球	米沢中央	米沢興譲館	米沢東	長 井
12	バドミントン	米沢興譲館	米沢鶴城	米沢東	12	バドミントン	米沢興譲館	長 井	米沢鶴城	九里学園
13	フェンシング	米沢興譲館	米沢東	高 畠	13	フェンシング	米沢東	米沢興譲館	高 畠	
14	ホッケー	置賜農業	米沢興譲館		14	ホッケー	米沢鶴城	米沢興譲館		

令和7年度大会・コンクール等の結果一覧

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人	県高校新人	その他の大会等
陸上競技	<p>【男子】 100m 松浦 悠真 第5位 200m 松浦 悠真 第6位 800m 野川 裕太 第5位 5000m 小野瑛太郎 第2位 星澤 涼正 第7位 3000m S C 星澤 涼正 第5位 落合 諒 第7位 4×100m 第4位 4×400m 第4位 走高跳 藤巻 颯斗 第5位 三段跳 小関 奏汰 第7位 やり投 藤巻 颯斗 第3位 【女子】 400m 前田 愛実 第5位 800m 渡部 桃子 第1位 前田 愛実 第5位 1500m 渡部 桃子 第1位 東條 真央 第2位 竹田 栞 第5位 東條 真央 第1位 竹田 栞 第2位 伊倉 陽奈 第4位 飯塚 実愛 第6位 100m H 4×100m 第5位 4×100m 第4位 4×400m 第4位 走高跳 飯塚 実愛 第5位 走幅跳 芳賀 理乃 第5位 駒村 柚羽 第8位 三段跳 寒河江希実 第2位 室屋 咲空 第4位 砲丸投 情野 有香 第2位 円盤投 情野 有香 第3位</p>	<p>【男子】 100m 松浦 悠真 第6位 東北総体出場 中川 陽翔 出場 青野 龍馬 出場 200m 松浦 悠真 第8位 一條 悠輔 出場 青野 龍馬 出場 長 和壮 出場 400m 樋口 慈 出場 丹 湊平 出場 800m 野川 裕太 出場 中川 大志 出場 1500m 内山 寛一 出場 5000m 小野瑛太郎 出場 星澤 涼正 出場 3000m S C 落合 諒 出場 星澤 涼正 出場 三段跳 小関 奏汰 出場 渡邊 泰玄 第4位 東北総体出場 横山 侑史 出場 やり投 藤巻 颯斗 出場 4×100m R 出場 4×400m R 出場 【女子】 100m 駒村 柚羽 出場 遠藤梨央那 出場 大木 和香 出場 200m 遠藤梨央那 出場 大木 和香 出場 400m 前田 愛実 出場 伊藤 清子 出場 800m 渡部 桃子 第7位 前田 愛実 出場 伊藤 清子 出場 1500m 竹田 栞 出場 東條 真央 出場 渡部 桃子 出場 3000m 東條 真央 第7位 竹田 栞 出場 伊倉 陽奈 出場 走幅跳 芳賀 理乃 出場 三段跳 室屋 咲空 出場 寒河江希実 出場 芳賀 理乃 出場 走高跳 寒河江希実 出場 砲丸投 情野 有香 第5位 東北総体出場 円盤投 情野 有香 出場 4×100m R 出場 4×400m R 出場</p>		<p>【男子】 100m 松浦 悠真 第2位 東北新人出場 青野 龍馬 出場 丹 湊平 出場 200m 松浦 悠真 第4位 東北新人出場 一條 悠輔 出場 400m 長 和壮 出場 樋口 慈 出場 800m 中川 大志 出場 鈴木 風雅 出場 1500m 内山 寛一 出場 鈴木 風雅 出場 5000m 小笠原聖悟 出場 内山 寛一 出場 走幅跳 小関 奏汰 出場 柴田 侑虎 出場 三段跳 小関 奏汰 第3位 東北新人出場 柴田 侑虎 出場 横山 侑史 出場 やり投 藤巻 颯斗 第2位 東北新人出場 一條 悠輔 出場 4×100m 第8位 【女子】 100m 駒村 柚羽 出場 遠藤梨央那 出場 大木 和香 出場 800m 伊倉 陽奈 出場 1500m 伊倉 陽奈 出場 走幅跳 駒村 柚羽 出場 4×400m R 出場</p>	<p>第80回東北高等学校陸上競技大会 【男子】 100m 松浦 悠真 出場 走高跳 渡邊 泰玄 出場 【女子】 砲丸投 情野 有香 出場 第78回山形県陸上競技選手権大会 【男子】 100m 松浦 悠真 出場 200m 松浦 悠真 出場 三段跳 小関 奏汰 出場 やり投 藤巻 颯斗 出場 4×100m R 第7位 第79回国民スポーツ大会陸上競技山形県予選会 【男子】 少年B 100m 一條 悠輔 出場 少年B 100m 樋口 慈 出場 少年B 100m 青野 龍馬 出場 少年B 100m 丹 湊平 出場 少年B 3000m 鈴木 風雅 出場 少年B 走幅跳 柴田 侑虎 出場 少年共通110m H 藤巻 颯斗 出場 【女子】 少年B 100m 遠藤梨央那 出場 少年B 100m 大木 和香 出場 少年B 1500m 伊倉 陽奈 出場 第30回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 【男子】 100m 松浦 悠真 第8位 200m 松浦 悠真 出場 三段跳 小関 奏汰 出場 やり投 藤巻 颯斗 出場</p>
	硬式野球				

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人	県高校新人	その他の大会等
バスケットボール	<p>【男子】</p> <p>1回戦 対 九里学園 73-62 準決勝 対 長井 47-75 順位決定戦 対 米沢鶴城 43-62 よって、地区第4代表で県高校総体出場</p> <p>【女子】</p> <p>1回戦 対 米沢鶴城 76-35 準決勝 対 九里学園 54-71 順位決定戦 対 高島 70-47 よって、地区第3代表で県高校総体出場</p>	<p>【男子】</p> <p>1回戦 対 新庄北・新庄南 51-50 2回戦 対 致道館 52-71</p> <p>【女子】</p> <p>1回戦 対 酒田光陵 77-54 2回戦 対 山形中央 26-126 ベスト16</p>	<p>【男子】</p> <p>1回戦 対 高島 60-33 準決勝 対 米沢中央 19-159 順位決定戦 対 米沢鶴城 28-80 よって、地区第4代表で県新人大会出場</p> <p>【女子】</p> <p>1回戦 対 南陽 48-51</p>	<p>【男子】</p> <p>1回戦 対 山形中央 11-120</p>	<p>藤井杯・高野杯</p> <p>【男子】</p> <p>1回戦 対 鶴岡工業 46-99</p> <p>【女子】</p> <p>1回戦 対 上山明新館 72-90 全国高等学校バスケットボール選手権大会山形県予選会</p> <p>【女子】</p> <p>1回戦 対 上山明新館 43-90</p>
バレーボール	<p>対 米沢鶴城 2-1 対 長井 0-2 対 長井工業 2-0 第3位</p>	<p>対 山形南 0-2</p>	<p>対 米沢鶴城 2-1 対 長井工業 2-0 対 米沢中央 0-2 対 長井 2-0 第2位</p>	<p>対 日大山形 0-2</p>	<p>安部杯争奪置賜地区高等学校選手権大会</p> <p>対 長井 0-2 対 米沢鶴城 1-2 対 米沢中央 0-2 対 長井工業 2-0 第3位 県予選会出場権獲得 春の高校バレーJVA第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会山形県代表決定戦1次大会 対 山形学院 0-2</p>
サッカー	<p>予選リーグ 1位通過 対 米沢東 3-0 対 米沢鶴城 1-0 準決勝 対 九里学園 0-1 第3位</p>	<p>1回戦 対 惺山 0-0 0-0 (9-8) 2回戦 対 羽黒 0-11 ベスト16</p>	<p>実施せず</p>	<p>1回戦 対 酒田南 3-3 (4-3) 2回戦 対 山形城北 1-5 2回戦敗退</p>	<p>第104回全国高校サッカー選手権大会山形県大会 1回戦 対 九里学園 0-1 1回戦敗退</p>
卓球	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 第3位 2回戦 対 長井 3-2 準決勝 対 米沢中央 0-3 ダブルス 新野 蒼佑・濱田 空良 ベスト8</p> <p>シングルス 武田 将英 ベスト16 新野 蒼佑 ベスト16 梅津 栄汰 ベスト16 遠藤 佑馬 ベスト32</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 第2位 1回戦 対 荒砥 3-0 準決勝 対 米沢東 3-0 決勝戦 対 米沢中央 0-3 ダブルス 棚村 桜子・安達 小雪 ベスト8 高木 夏奈・渦湊 妃乃 ベスト16</p> <p>シングルス 高木 夏奈 ベスト16 渦湊 妃乃 ベスト16 山口 璃子 ベスト16 棚村 桜子 ベスト32 以上、県大会出場</p>	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 1回戦 対 創学館 0-3 ダブルス 新野 蒼佑・濱田 空良 2回戦敗退</p> <p>シングルス 武田 将英 2回戦敗退 新野 蒼佑 2回戦敗退 梅津 栄汰 2回戦敗退 遠藤 佑馬 2回戦敗退</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 ベスト8 1回戦 対 新庄北 3-0 2回戦 対 寒河江 3-0 3回戦 対 山形城北 0-3 ダブルス 棚村 桜子・安達 小雪 1回戦敗退 高木 夏奈・渦湊 妃乃 1回戦敗退</p> <p>シングルス 高木 夏奈 2回戦敗退 渦湊 妃乃 1回戦敗退 山口 璃子 1回戦敗退 棚村 桜子 1回戦敗退</p>	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 第2位 1回戦 対 長井 3-0 準決勝 対 九里学園 3-0 決勝 対 米沢中央 0-3 シングルス 梅津 栄汰 ベスト8 武田 将英 ベスト16 新野 蒼佑 ベスト16 濱田 空良 ベスト16</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 第2位 1回戦 対 九里学園 3-0 準決勝 対 長井 3-0 決勝戦 対 米沢中央 0-3 シングルス 棚村 桜子 ベスト8 安達 小雪 ベスト16 山口 璃子 ベスト16 以上、県大会出場</p>	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 1回戦 対 山形東 1-3 シングルス 武田 将英 2回戦敗退 新野 蒼佑 2回戦敗退 濱田 空良 2回戦敗退 梅津 栄汰 2回戦敗退</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 2回戦 対 山辺 0-3 シングルス 棚村 桜子 2回戦敗退 安達 小雪 1回戦敗退 山口 璃子 1回戦敗退</p>	<p>国民スポーツ大会米沢地区予選少年男子 新野 蒼佑 ベスト16 国民スポーツ大会山形県予選 新野 蒼佑 2回戦敗退</p>
ソフトテニス男子	<p>団体 予選リーグ 対 米沢中央 0-3 負け 決勝トーナメント 1回戦 対 長井 0-2 負け 個人 安孫子恒佑・酒井 心 2回戦敗退(県出場) 高野 太喜・青木昂太郎 1回戦敗退 遠藤 一輝・佐野 巧武 1回戦敗退</p>	<p>団体 1回戦 対 鶴岡東 0-3 負け 個人 安孫子恒佑・酒井 心 2回戦敗退</p>	<p>団体 第3位 個人 遠藤 一輝・佐野 巧武 県大会出場 高野 太喜・青木昂太郎 県大会出場</p>	<p>団体 2回戦 対 東海大山形 0-3 負け 個人 遠藤 一輝・佐野 巧武 1回戦敗退 高野 太喜・青木昂太郎 1回戦敗退</p>	<p>置賜地区春季ソフトテニス選手権大会 安孫子恒佑・酒井 心 1回戦敗退 第80回山形県春季ソフトテニス選手権大会 安孫子恒佑・酒井 心 3回戦敗退 国民スポーツ大会置賜地区ソフトテニス競技予選敗退</p>
ソフトテニス女子	<p>団体 第3位 予選リーグ 対 米沢中央 0-3 負け 決勝トーナメント 1回戦 対 米沢東 2-1 勝ち 2回戦 対 長井 0-3 負け</p>	<p>団体 1回戦 対 惺山 0-3 負け 個人 五十嵐優花・鈴木 海夕 2回戦敗退 佐藤 瑞姫・土田 美槻 2回戦敗退</p>	<p>団体 第2位 予選リーグ 対 長井 2-1 勝ち 決勝トーナメント 1回戦 対 米沢東 2-0 勝ち 決勝 対 米沢中央 0-2 負け</p>	<p>団体 2回戦 対 山形西 0-3 負け</p>	<p>置賜地区春季ソフトテニス選手権大会 阿部 桃子・富田 泉海 2回戦敗退 阿部 千那・佐藤 優衣 1回戦敗退 五十嵐優花・鈴木 海夕 1回戦敗退</p>

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人	県高校新人	その他の大会等
ソフトテニス女子	個人 五十嵐優花・鈴木 海夕 2回戦敗退 県大会出場 佐藤 瑞姫・土田 美槻 1回戦敗退 (代表決定戦勝利により県出場) 阿部 桃子・富田 泉海 1回戦敗退 阿部 千那・佐藤 優衣 1回戦敗退 下嶋 優実・小幡 恭子 1回戦敗退 佐藤 優笑・漆山 さち 1回戦敗退 布施 琴葉・吉田 侑生 1回戦敗退		個人 佐藤 瑞姫・土田 美槻 3回戦敗退 県大会出場 富田 泉海・高梨 瑚桃 2回戦敗退 県大会出場 布施 琴葉・吉田 侑生 2回戦敗退 県大会出場 佐藤 優笑・漆山 さち 1回戦敗退	個人 佐藤 瑞姫・土田 美槻 2回戦敗退 富田 泉海・高梨 瑚桃 1回戦敗退 布施 琴葉・吉田 侑生 1回戦敗退	下嶋 優実・小幡 恭子 1回戦敗退 佐藤 優笑・漆山 さち 1回戦敗退 第80回山形県春季ソフトテニス選手権大会 阿部 桃子・富田 泉海 2回戦敗退 阿部 千那・佐藤 優衣 2回戦敗退 下嶋 優実・小幡 恭子 2回戦敗退 五十嵐優花・鈴木 海夕 1回戦敗退 佐藤 優笑・漆山 さち 1回戦敗退 国民スポーツ大会山形県予選会 佐藤 瑞姫・土田 美槻 1回戦敗退
柔道	【男子】 個人 60kg級 板垣 宙伸 第1位 【女子】 団体 第3位 個人 70kg級 小関 藍 棄権 48kg級 須藤 凜 第3位 48kg級 高橋 藍 第3位	【男子】 個人 60kg級 板垣 宙伸 第2位 東北大会進出決定 【女子】 団体 対 山辺 1回戦敗退 個人 70kg級 小関 藍 1回戦敗退 48kg級 須藤 凜 1回戦敗退 48kg級 高橋 藍 1回戦敗退	【男子】 個人 60kg級 板垣 宙伸 棄権 【女子】 団体 第2位 個人 70kg級 小関 藍 第1位 48kg級 須藤 凜 第2位 48kg級 高橋 藍 第1位	【女子】 団体 1回戦敗退 対 山形工業 個人 70kg級 小関 藍 1回戦敗退 48kg級 須藤 凜 1回戦敗退 48kg級 高橋 藍 1回戦敗退	朝日新聞社杯 【男子】 個人 板垣 宙伸 1回戦敗退 【女子】 個人 須藤 凜 第3位 高橋 藍 1回戦敗退 小関 藍 棄権 JOCジュニアオリンピックカップ 【男子】 個人 60kg級 板垣 宙伸 ベスト4 東北高等学校柔道大会 【男子】 個人 60kg級 板垣 宙伸 怪我のため棄権 第79回国民スポーツ大会山形県予選会 少年男子軽量級 板垣 宙伸 棄権 少年女子52kg以下級 須藤 凜 1回戦敗退 高橋 藍 1回戦敗退 少年女子63kg～78kg級 小関 藍 1回戦敗退 全国高等学校柔道選手権山形県予選大会 【女子】 団体 対 山形工業 1回戦敗退 個人 48kg級 須藤 凜 2回戦敗退 高橋 藍 1回戦敗退 無段57kg超級 小関 藍 第1位 東北大会出場 全国高等学校柔道選手権東北地区大会 【女子】 個人 無段57kg超級 小関 藍 第2位
剣道	【男子】 団体 第3位 予選リーグ 対 米沢東 ○4-0× 対 長井工業 ○3-0× 対 米沢中央 ×0-3○ 予選リーグ 2位通過 決勝トーナメント 対 米沢鶴城 ×1-2○ 【女子】 団体 第2位 対 九里 ○3-1× 対 長井・米沢鶴城 ○3-1× 対 米沢中央 ×0-3○ 個人戦入賞なし	【男子】 団体 予選リーグ 対 東桜学館 ○4-0× 対 鶴岡東 ×0-3○ 予選リーグ敗退 【女子】 団体 対 致道館 ×1-2× 対 東北文科大学山形城北 ×0-2○ 対 山工・寒河江 ○3-1× 予選リーグ敗退 個人戦入賞なし	【男子】 団体 第2位 予選リーグ 対 長井 ○3-0× 対 九里 ○3-0× 決勝トーナメント 準決勝 対 米沢東 ○1-1× 決勝 対 米沢中央 ×1-2○ 個人 丹野 隼翔 第3位 【女子】 団体 第2位 決勝リーグ 対 九里 ○2-0× 対 長井・米沢鶴城 ○2-2× 対 米沢中央 ×1-3○	【男子】 団体 予選リーグ敗退 予選リーグ 対 新庄北・村山産業 ○4-0× 対 山形工業 ×0-4○ 【女子】 団体 予選リーグ敗退 対 長井・米沢鶴城 ○2-0× 対 山形商業 ×0-3○ 個人戦入賞なし	米沢市民体育祭上杉神社奉納剣道大会 高校男子個人 遠藤 悠輔 第3位

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人	県高校新人	その他の大会等
弓道	<p>【男子】 団体 第2位 80射34中 県大会出場</p> <p>個人 小倉 愛生 8射5中 県大会出場 佐藤 怜 8射4中 県大会出場 渡部 瑛良 8射4中 県大会出場 山川 暖 8射4中 県大会出場</p> <p>【女子】 団体 第1位 80射36中 県大会出場</p> <p>個人 尾形 美来 第3位 8射5中射詰競射 県大会出場 遠藤 伶 8射4中 県大会出場 平 果南子 8射4中 県大会出場</p>	<p>【男子】 団体 60射25中 予選敗退 個人 小倉 愛生 8射2中 予選敗退 佐藤 怜 8射2中 予選敗退 渡部 瑛良 8射2中 予選敗退 山川 暖 8射2中 予選敗退</p> <p>【女子】 団体 60射22中 予選敗退 個人 平 果南子 8射3中 予選敗退 尾形 美来 8射2中 予選敗退 遠藤 伶 8射2中 予選敗退</p>	<p>【男子】 団体 第2位 40射16中 県大会出場</p> <p>個人 佐藤 連 8射4中 県大会出場 向川 倅聖 8射4中 県大会出場 船山 大雅 8射4中 県大会出場 渡部 瑛良 8射4中 県大会出場</p> <p>【女子】 団体 20射8中</p>	<p>【男子】 団体 予選 40射20中 5位通過 決勝 対 山形中 ×4-11</p> <p>個人 向川 倅聖 8射4中 予選敗退 船山 大雅 8射3中 予選敗退 渡部 瑛良 8射3中 予選敗退 佐藤 連 8射2中 予選敗退</p>	<p>春季市民体育祭兼置賜地区大会 【男子】 団体 第3位 24射10中 樋口・山川・船山 【女子】 藤村・堀川・堤 第1位 24射13中 鈴木・遠藤 第2位 16射10中</p> <p>個人 堀川しずく 第2位 8射6中 鈴木 凜奈 第7位 8射5中遠近競射 あやめ杯弓道大会</p> <p>団体 向川・山川・藤橋 第2位 24射11中射詰競射 船山・渡部・樋口 第3位 24射10中</p> <p>個人 山川 暖 第1位 8射5中射詰競射 樋口 智樹 第5位 8射4中遠近競射 米沢市民スポーツ大会弓道競技兼 米弓連杯争奪弓道大会</p> <p>個人 向川 倅聖 第8位 12射5中遠近競射 グリヤ杯弓道大会</p> <p>【男子】 団体 興譲館A 第2位 40射10中射詰競射</p> <p>個人 佐藤 怜 第2位 8射4中遠近競射 渡部 瑛良 第3位 8射4中遠近競射</p> <p>【女子】 団体 興譲館C 第3位 40射8中</p> <p>個人 尾形 美来 第3位 (花的賞) 8射3中遠近競射 全国高校選抜置賜地区大会</p> <p>【男子】 第2位 36射15中 県大会出場 全国高校選抜県予選会</p> <p>【男子】 予選 24射12中 5位通過 準決勝 12射5中 敗退 米沢弓道連盟納会</p> <p>【オープン】 渡部 瑛良 第7位 8射5中遠近競射 向川 倅聖 第8位 8射5中遠近競射</p>
山岳	大会山域：豪士山 【男子】 団体 第1位 【女子】 団体 第1位	大会山域：豪士山 【男子】 団体 A隊エントリー 第6位 (87.1/100) 【女子】 団体 C隊エントリー 無事踏破	大会山域：西吾妻山 【男子】 団体 第2位 【女子】 団体 第1位	大会山域：月山 荒天により登山行動中止 書類審査のみ 【男子】 団体 C隊エントリー 順位なし 【女子】 団体 C隊エントリー 順位なし	
バドミントン	【男子】 団体 第1位 準決勝 対 米沢鶴城 3-0 決勝 対 長井 3-2 ダブルス 山川 藍良・鈴木 陽斗 第1位 高野倫太郎・藤村 悠志 第3位 <p>シングルス 鈴木 陽斗 第2位 山川 藍良 第3位 高野倫太郎 第3位 藤村 悠志 第5位</p>	【男子】 団体 ベスト8 1回戦 対 上山明新館 3-0 2回戦 対 寒河江 3-1 準々決勝 対 新庄東 0-3 ダブルス 山川 藍良・鈴木 陽斗 ベスト16 高野倫太郎・藤村 悠志 1回戦敗退 <p>シングルス 鈴木 陽斗 ベスト16 山川 藍良 ベスト16 高野倫太郎 2回戦敗退 藤村 悠志 2回戦敗退</p>	【男子】 団体 第1位 準決勝 対 米沢東 3-1 決勝 対 米沢鶴城 3-2 ダブルス 山川 藍良・鈴木 陽斗 第1位 高野倫太郎・藤村 悠志 第2位 <p>シングルス 鈴木 陽斗 第1位 高野倫太郎 第2位 山川 藍良 第3位 藤村 悠志 第5位</p>	【男子】 団体 第3位 1回戦 対 日大山形 3-0 準々決勝 対 榎山 3-2 準決勝 対 新庄東 0-3 ダブルス 山川 藍良・鈴木 陽斗 2回戦敗退 高野倫太郎・藤村 悠志 1回戦敗退 <p>シングルス 鈴木 陽斗 1回戦敗退 高野倫太郎 1回戦敗退 山川 藍良 2回戦敗退 藤村 悠志 1回戦敗退</p>	山形県高等学校春季バドミントン 選手権大会 【男子】 ダブルス 山川 藍良・鈴木 陽斗 ベスト8 <p>シングルス 鈴木 陽斗 ベスト16</p> <p>【女子】 ダブルス 高橋 真央・高梨遥乃香 2回戦敗退</p> <p>シングルス 高橋 真央 ベスト8 高梨遥乃香 ベスト16</p>

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人	県高校新人	その他の大会等
バドミントン	<p>【女子】</p> <p>団体 第1位</p> <p>1回戦 対 南陽 3-1</p> <p>準決勝 対 米沢東 3-1</p> <p>決勝 対 長井 3-2</p> <p>ダブルス</p> <p>高橋 真央・高梨遥乃香 第1位</p> <p>淀野結莉香・田之上桜子 第9位</p> <p>シングルス</p> <p>高橋 真央 第1位</p> <p>高梨遥乃香 第3位</p> <p>以上県大会出場</p>	<p>【女子】団体 ベスト16</p> <p>1回戦 対 日大山形 3-0</p> <p>2回戦 対 鶴岡中央 2-3</p> <p>ダブルス</p> <p>高橋 真央・高梨遥乃香 ベスト8</p> <p>淀野結莉香・田之上桜子 1回戦敗退</p> <p>シングルス</p> <p>高橋 真央 ベスト8</p> <p>高梨遥乃香 2回戦敗退</p>	<p>【女子】団体 第1位</p> <p>準決勝 対 九里学園 3-0</p> <p>決勝 対 長井 3-2</p> <p>ダブルス</p> <p>高橋 真央・高梨遥乃香 第1位</p> <p>大浦 玖紀・後藤菜奈子 第5位</p> <p>シングルス</p> <p>高橋 真央 第1位</p> <p>高梨遥乃香 第3位</p> <p>後藤菜奈子 第5位</p> <p>以上県大会出場</p>	<p>【女子】団体 ベスト8</p> <p>1回戦 対 山形北 3-1</p> <p>準々決勝 対 山形城北 0-3</p> <p>ダブルス</p> <p>高橋 真央・高梨遥乃香 2回戦敗退</p> <p>大浦 玖紀・後藤菜奈子 1回戦敗退</p> <p>シングルス</p> <p>高橋 真央 第3位</p> <p>高梨遥乃香 1回戦敗退</p> <p>後藤菜奈子 2回戦敗退</p>	<p>国民スポーツ大会置賜地区予選</p> <p>【男子】</p> <p>ダブルス</p> <p>山川 藍良・鈴木 陽斗 第1位</p> <p>高野倫太郎・藤村 悠志 第2位</p> <p>シングルス</p> <p>鈴木 陽斗 第1位</p> <p>高野倫太郎 第2位</p> <p>山川 藍良 第3位</p> <p>藤村 悠志 第5位</p> <p>【女子】</p> <p>ダブルス</p> <p>高橋 真央・高梨遥乃香 第1位</p> <p>大浦 玖紀・後藤菜奈子 第5位</p> <p>シングルス</p> <p>高橋 真央 第2位</p> <p>高梨遥乃香 第3位</p>
フェンシング	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 第2位</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>有賀 友亮 第2位</p> <p>米木 脩人 第3位</p> <p>エベ 米木 脩人 第1位</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 第2位</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>高橋 梨愛 第1位</p> <p>エベ 高橋 梨愛 第2位</p> <p>山岸 詩和 第3位</p> <p>岩田 祈恵 第3位</p>	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 第4位</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>有賀 友亮 第3位</p> <p>エベ 米木 脩人 第3位</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 第2位</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>高橋 梨愛 第3位</p> <p>エベ 石原 葉里 第1位</p> <p>杉浦 怜奈 第3位</p>	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 第1位</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>鎌水 雄大 第1位</p> <p>中川 悠平 第3位</p> <p>エベ</p> <p>増原 喜央 第1位</p> <p>井上颯一朗 第3位</p> <p>中川 悠平 第3位</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 第2位</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>高橋 梨愛 第3位</p> <p>エベ</p> <p>岩田 祈恵 第1位</p> <p>高橋 梨愛 第3位</p>	<p>【男子】</p> <p>学校対抗 第2位</p> <p>個人</p> <p>エベ</p> <p>増原 喜央 第3位</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 第2位</p> <p>個人</p> <p>エベ</p> <p>高橋 梨愛 第1位</p> <p>岩田 祈恵 第3位</p> <p>杉浦 怜奈 第3位</p>	<p>第63回東北高校フェンシング選手権大会</p> <p>【男子】</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>有賀 友亮 予選敗退</p> <p>エベ 米木 脩人 第8位</p> <p>【女子】</p> <p>学校対抗 1回戦敗退</p> <p>個人</p> <p>フルーレ</p> <p>高橋 梨愛 予選敗退</p> <p>エベ 石原 葉里 ベスト16</p> <p>杉浦 怜奈 ベスト16</p> <p>第79回国民スポーツ大会山形県予選会</p> <p>少年男子フルーレ</p> <p>鎌水 雄大 第3位</p> <p>伊藤 大翔 第6位</p> <p>少年女子フルーレ</p> <p>石原 葉里 第4位</p> <p>杉浦 怜奈 第5位</p> <p>インターハイ</p> <p>【女子】</p> <p>個人</p> <p>エベ 石原 葉里 第3位</p> <p>第52回東北総合体育大会</p> <p>少年男子 鎌水 雄大 第6位</p> <p>第33回JOCジュニアオリンピックカップ大会</p> <p>カデ女子エベ</p> <p>杉浦 怜奈 出場</p> <p>カデ女子フルーレ</p> <p>安達 久乃 出場</p> <p>第50回全国高校選抜大会北海道東北予選会</p> <p>【男子】団体エベ 第2位</p> <p>【女子】団体エベ</p> <p>代表決定戦 第1位</p> <p>第50回全国高校選抜大会</p> <p>【男子】団体エベ 出場</p> <p>【女子】団体エベ 出場</p>
ホッケー	<p>【男子】</p> <p>対 置賜農業</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-2 \\ 0-6 \\ 0-4 \\ 0-3 \end{matrix} \right\}$ 15 第2位</p> <p>【女子】</p> <p>対 米沢鶴城</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-8 \\ 0-7 \\ 0-8 \\ 0-7 \end{matrix} \right\}$ 30 第2位</p>	<p>【男子】</p> <p>対 置賜農業</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-2 \\ 0-5 \\ 0-3 \\ 0-1 \end{matrix} \right\}$ 11 第2位</p> <p>【女子】</p> <p>対 米沢鶴城</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-3 \\ 0-1 \\ 0-4 \\ 0-5 \end{matrix} \right\}$ 13 第2位</p>	<p>【男子】</p> <p>対 置賜農業</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-1 \\ 0-2 \\ 0-3 \\ 0-4 \end{matrix} \right\}$ 10 第2位</p> <p>【女子】</p> <p>対 米沢鶴城</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-3 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 0-4 \end{matrix} \right\}$ 7 第2位</p>	<p>【男子】</p> <p>対 置賜農業</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-2 \\ 0-3 \\ 0-2 \\ 0-3 \end{matrix} \right\}$ 10 第2位</p> <p>【女子】</p> <p>対 米沢鶴城</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-1 \\ 0-2 \\ 0-0 \\ 0-0 \end{matrix} \right\}$ 3 第2位</p>	<p>東北選手権</p> <p>【男子】</p> <p>1回戦 対 南昌みらい</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-1 \\ 0-1 \\ 0-2 \\ 0-2 \end{matrix} \right\}$ 6</p> <p>【女子】</p> <p>準決勝 対 南昌みらい</p> <p>0 $\left\{ \begin{matrix} 0-5 \\ 0-4 \\ 0-4 \\ 0-7 \end{matrix} \right\}$ 20 東北3位</p>

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人	県高校新人	その他の大会等
ホッケー					全国高校選抜大会東北地区予選 【男子】 1回戦 対 築館 $0 \begin{cases} 0-3 \\ 0-1 \\ 0-1 \\ 0-3 \end{cases} 8$ 【女子】 1回戦 対 三沢 $2 \begin{cases} 0-0 \\ 1-1 \\ 1-0 \\ 0-2 \end{cases} 3$

部活動名	活動報告
調理科学	令和7年度高校生山形のうまいもの商品開発コンテスト やまがた150周年記念賞シベール賞 2年 竹田 天夢・1年 有我 唯・1年 後藤 和・1年 嵐田 結衣 やまがた150周年記念賞ホテルメトロポリタン賞 2年 佐藤 思唯・2年 井上 優愛・1年 桑原 悠輔 山形県農林水産部長賞 2年 齋藤 心美・1年 中川 龍成・1年 大竹 穂香・1年 高橋 煌芽
美術	第30回米沢興譲館高等学校美術部OB・OG合同展(5/27～6/1よねざわ市民ギャラリーナセBA) 第80回山形県総合美術展 洋画 入選 2年 嶋倉 優斗 第75回置賜地区高校美術展 最優秀賞 油彩 2年 渡部さくら・特選 アクリル 2年 嶋倉 優斗・奨励賞 油彩 1年 青木 伶奈 奨励賞 彫刻 1年 井上あかり 第76回緑光会 奨励賞 油彩 1年 青木 伶奈 第73回山形県高等学校美術展第49回山形県高等学校総合文化祭 県高美展賞 総合文化祭賞 絵画 2年 渡辺さくら・特選 高文連賞 絵画 2年 嶋倉 優斗 特選 高文連賞 絵画 1年 青木 伶奈 以上3名は来年度開催される第50回全国高等学校総合文化祭(あきた総文2026)に出場 奨励賞 彫刻 1年 井上あかり・審査員推薦 絵画 1年 須崎 志道 第37回読書感想画中央コンクール 山形県審査会 指定図書(高等学校の部) 優秀賞 2年 嶋倉 優斗 雲井龍雄スピリットを未来へ!地域創生コンテスト キャラクターデザイン 入賞 2年 渡辺さくら・1年 須崎 志道 8月3日～10日 第33回南陽市えくぼ絵画展参加(シュルター南陽ホール) 11月11日～16日 第27回総合絵画・彫刻展参加(よねざわ市民ギャラリーナセBA) 11月18日～24日 伊藤忠太の妖怪画deアートする参加(よねざわ市民ギャラリーナセBA) 3月4日～22日 第6回山形県秀作選抜展(山形県芸文美術館)
音楽	6月7日 第62回置賜地区高等学校合唱祭参加(伝国の杜置賜文化ホール) 10月19日 よねざわステージフェスティバル2025参加(米沢市市民文化会館) 10月26日 南原文化祭参加(南原コミュニティセンター) 訪問演奏ボランティア(9月15日やすらぎ苑、9月20日回春堂、12月20日ツクイ米沢)
吹奏楽研究	5月6日 第60回定期演奏会開催(米沢市市民文化会館) 7月20日 置賜地区吹奏楽連盟第56回定期演奏会兼第64回山形県吹奏楽コンクール 置賜地区予選 高等学校の部 優秀賞 課題曲:Ⅲ マーチ「メモリーズ・リフレイン」(伊藤士恩) 自由曲:秘儀ⅥよりⅠ・Ⅲ・Ⅴ(西村朗) 8月1日 第64回山形県吹奏楽コンクール 高等学校の部 金賞・県代表 8月23日 第68回東北吹奏楽コンクール 高等学校の部 銅賞 8月29～30日 令和7年度興譲祭公演 9月14日 米沢興譲館高校吹奏楽研究クラブ創部60周年記念演奏会(吹研OB会主催)出演 9月21日 Autumnコンサートin児童会館(米沢市児童会館主催) 出演 10月5日 第20回吹奏楽の日コンサート(置吹連主催) 出演 10月19日 第42回児童会館秋まつり(米沢市児童会館主催) 出演 10月26日 第26回南原音楽祭(南原コミセン主催) 出演 12月21日 第52回置賜地区アンサンブルコンテスト 金管三重奏 金賞・代表(17団体中1位) 鈴木 蓮花Hn、鹿野 陽聖Eup、島貫 琉唯Eup 管楽七重奏 金賞・代表(同2位) 今岡 ゆいas、石田 愛梨as、神尾 日乃as、青柳 愛深ts、安部 響ts、大原滉二郎bs、濱田 佳歩cb 打楽器五重奏 金賞・代表(同4位) 酒井 花果、田中 花瑠、井上 和音、川合 由真、長峯 そよ 1月18日 第49回山形県アンサンブルコンテスト 金管三重奏 銀賞・管楽七重奏 銅賞・打楽器五重奏 金賞
新聞・文芸	第49回全国高等学校総合文化祭文芸部門散文部門 参加 3年 千葉 漣二
CSSC (コアスーパーサイエンスクラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度東北大学「科学者の卵」養成講座 研究基礎コース 採択 1年 岡崎 里彩・1年 佐藤 煌太 ・2025年度東京大学「UTokyoGSC-Next」 第二段階採択→第三段階への中間選考通過 1年 小野日向子 ・第49回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 ポスター発表の部 出場 「深層学習モーショントラッキングを用いたメキシコサンショウウオの行動解析―「ウーパルーバー」は縄張り行動を示すのか―」 3年 土屋 心宇・3年 渡部 結衣 ・第49回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 研究発表の部 化学分野 出場 「分子鎖の絡み合いによって外部刺激なしで自己修復性を示すゲル」 3年 富樫 和真・2年 小林 恒平 ・WRO 2025 Japan 公認 山形予選会(県大会)ROBO MISSIONカテゴリー エキスパート競技 シニア部門 第5位 1年 新野 聡太・1年 笹 ありさ、第7位 1年 海原 悠生・1年 芳賀 椋成 ・パソコン甲子園2025 プログラミング部門 予選参加・もうひとつの本選参加 1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 芳賀 椋成・2年 小林 恒平・3年 松山 優 予選成績優秀者 3年 松山 優 ・プログラミング甲子園2025 参加 2年 木村 鷹詠 ・サイエンスキャスル研究費2025 ものづくり0.THK賞 認定研究 2年 小林 恒平・2年 金子 昂生・1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 横山 瑠香・1年 芳賀 椋成 ・サイエンスキャスル研究費 アサヒ飲料賞 認定研究 2年 原 奈那・2年 渋間 晴翔 ・河川基金 助成事業採択一般助成(高等学校)「山形県置賜地域におけるサンショウウオの生息域調査とその保全」 ・かずさDNA研究所 高校生部活動支援プログラム 採択 2年 木村 明莉・2年 丹内 唯愛・2年 新野 日穂 ・令和7年度日本動物学会 東北支部大会 高校生による科学研究発表会 優秀賞「環境DNAを用いた山形県置賜地方における野生メダカの継続調査」 2年 木村 明莉・2年 新野 日穂・2年 丹内 唯愛 ・山形大学認定ナセパス研究グループ主催「めーかーずフェスタ2025de米沢」出展 「多方位風力発電装置の作成」 2年 小林 恒平・2年 金子 昂生 「聴覚障害者をサポートするARの開発について」 2年 木村 鷹詠

部活動名	活動報告
<p>CSSC (コアスーパーサイエンスクラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県高等学校総合文化祭 科学専門部 展示部門 ポスター発表 「環境DNAを用いた野生メダカの生息域マップの作成」2年 新野 日穂・2年 木村 明莉・2年 丹内 唯愛・1年 相馬 采実 「バイオリクターを用いたシアノバクテリアにおける光合成」1年 岡崎 里彩・1年 横山 瑠香 「効率的に記憶定着する方法」1年 佐藤 煌太・1年 海原 悠生 「python music21を用いた言語の音程解析と社会との相関の分析」1年 小野日向子 「同じ処理に対する複数のプログラム」1年 新野 聡太・1年 芳賀 棕成 「セキュリティソフトについて」1年 館 ありさ ・山形県探究学習課題研究発表会 高文連科学専門部の部 物理領域 優良賞「磁気センサを用いた多自由度回転系の原点検出」2年 小林 恒平 化学領域 発表 「グリセリンとアミロペクチンを用いたTPSの作成と特性評価」2年 渋間 晴翔 生物領域 発表 「ヒメダカと日本固有種は構造が異なるのか～メダカの形態学的解析～」2年 新野 日穂・2年 原 奈那 ・サイエンスキャッスル研究費2025 ものづくり0.THK賞 成果発表会 奨励賞「LMガイドを活用した球体振動型風力発電装置の開発」 2年 小林 恒平・2年 金子 昂生・1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 横山 瑠香・1年 芳賀 棕成 ・サイエンスキャッスル研究費 アサヒ飲料賞 成果発表会 参加「山形県置賜地域におけるセンザンサンショウウオとパンエツサンショウウオの生息域調査～環境DNA調査用プライマーの設計と特異性検討～」 2年 原 奈那・2年 渋間 晴翔 (科学系講習会・サイエンスキャンプ等への参加) ・本校主催/山形大学工学部共催「サイエンスリーダー育成塾」所属 2年 木村 明莉・2年 庄司 朗・2年 丹内 唯愛・2年 新野 日穂・2年 原 奈那・2年 小林 恒平・2年 渋間 晴翔・2年 金子 昂生 →2月開催「サイエンスリーダー育成塾 専門研究成果発表会」で英語での口頭発表を予定 ・やまがたAI部運営コンソーシアム主催「やまがたAI部」所属 2年 小林 恒平・1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 小野日向子・1年 館 ありさ・1年 芳賀 棕成 →3月開催「やまがたAI甲子園」参加予定 ・山形大学スーパーエンジニアプログラミングスクール2025 修了 1年 佐藤 煌太・1年 相馬 采実・1年 横山 瑠香・1年 新野 聡太 ・令和7年度山形県高等学校文化連盟科学専門部 置賜地区交流会「アムジェン・バイオテック・エクスペリエンス」参加 2年 木村 明莉・2年 庄司 朗・2年 丹内 唯愛・2年 新野 日穂・2年 原 奈那・2年 渡會 愛香・2年 小林 恒平・2年 渋間 晴翔・ 2年 木村 鷹詠・2年 金子 昂生・1年 岡崎 里彩・1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 相馬 采実・1年 横山 瑠香・1年 小野日向子・ 1年 新野 聡太・1年 館 ありさ・1年 芳賀 棕成 (科学系ボランティア等への参加) ・ネイチャーフロント米沢主催「掘立川遊水地バードウォッチング・清掃ボランティア」参加 2年 庄司 朗・2年 原 奈那・1年 岡崎 里彩・1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 相馬 采実・1年 横山 瑠香・1年 小野日向子・ 1年 新野 聡太・1年 館 ありさ・1年 芳賀 棕成 ・美しい山形・最上川フォーラム主催「身近な川や水辺の健康診断」(水質調査・水生生物調査)参加 2年 木村 明莉・2年 庄司 朗・2年 丹内 唯愛・2年 新野 日穂・2年 原 奈那・2年 渡會 愛香・2年 小林 恒平・2年 渋間 晴翔・ 2年 木村 鷹詠・2年 金子 昂生・1年 岡崎 里彩・1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 相馬 采実・1年 横山 瑠香・1年 小野日向子・ 1年 新野 聡太・1年 館 ありさ・1年 芳賀 棕成 ・南陽市教育委員会社会教育課主催「放課後子ども教室」高校生による科学実験・工作講座 運営 2年 木村 明莉・2年 庄司 朗・2年 丹内 唯愛・2年 新野 日穂・2年 原 奈那・2年 小林 恒平・2年 渋間 晴翔・2年 木村 鷹詠・ 2年 金子 昂生・1年 岡崎 里彩・1年 海原 悠生・1年 佐藤 煌太・1年 相馬 采実・1年 横山 瑠香・1年 小野日向子・1年 新野 聡太・ 1年 館 ありさ・1年 芳賀 棕成 ・2025青少年のための科学の祭典in山形 実験工作ブース運営 2年 庄司 朗・2年 丹内 唯愛・2年 渋間 晴翔・1年 相馬 采実・1年 横山 瑠香・1年 小野日向子
<p>SSクラブ (スーパーサイエンスクラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県環境エネルギー部主催「環境SDGsアワード2024」 山形県知事賞「環境DNAを用いたキタノメダカとミナメダカの生息域調査」 3年 末野 莉子・3年 土屋 心宇・3年 富樫 和真 審査員特別賞「山形県置賜地域に生息するサンショウウオのmtDNA塩基配列解析」 3年 青木 優羽・3年 山口 貴弘・3年 渡部 結衣 ・山形県環境エネルギー部主催「環境SDGsアワード2025」 審査員特別賞 「二重反転式サボニウス型風車の発電量の検証」 2年 高橋 優希・2年 高橋 那奈・2年 岡野 花・2年 伊藤 岬 ・2025年度東北大「科学者の卵」養成講座 研究基礎コース 採択 2年 鈴木 雫月・2年 横山 侑史 ・文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構主催「令和7年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」(全国大会)研究発表 「山形県置賜地域に生息するサンショウウオのmtDNA塩基配列解析」 3年 青木 優羽・3年 山口 貴弘・3年 渡部 結衣 ・パソコン甲子園2025 プログラミング部門 予選参加、もうひとつの本選参加 2年 横山 侑史 ・日本オーチス・エレベータ株式会社主催「Made to Move Communities」2025 STEMプレゼンテーション大会 参加 2年 小林 恒平・1年 横山 瑠香・1年 相馬 采実・1年 小野日向子・1年 遠藤 綾大・1年 小幡 拓未・1年 工藤 啓仁・1年 新野 聡太 ・山形県探究学習課題研究発表会 一般の部 小白川キャンパス長管理系部門 「環境DNAを用いた山形県置賜地方における野生メダカの継続調査」 2年 新野 日穂・2年 木村 明莉・2年 丹内 唯愛 優秀賞 「二重反転式サボニウス型風車の発電量の検証」 2年 高橋 優希・2年 高橋 那奈・2年 岡野 花・2年 伊藤 岬 優良賞 「絵本における役割語とキャラクター像 ～統計的分析を通して～」 2年 高木 多恵・2年 板垣 希咲・2年 井上颯一郎・2年 尾形 美来・2年 高橋 真央 ・東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会2025 奨励賞 「二重反転式サボニウス型風車の発電量の検証」 2年 高橋 優希・2年 高橋 那奈・2年 岡野 花・2年 伊藤 岬 奨励賞 「静電気力を用いたスペースデブリ回収の実現に向けて」 2年 神尾 日乃・2年 渡會 愛香 ・第25回日本情報オリンピック予選 敢闘賞(予選Bランク) 2年 横山 侑史 ・南陽市青年団/青年教育推進事業実行委員会主催「令和7年度 置賜地区高校生まちづくりワークショップ」参加 2年 鈴木 彩夏・2年 坂野 珠希 ・山形県教育委員会主催「科学の甲子園 山形県大会」 第4位 2年 伊藤 翔太・2年 平間 愛二・2年 大浦 幸太・2年 大原滉二郎・2年 岡野 花・2年 小林 恒平 ・第19回全日本高校模擬国連大会 予選会出場 2年 井上颯一郎・2年 小林 恒平・2年 岡野 花・2年 漆山 采音 →本大会出場 2年 井上颯一郎・2年 小林 恒平 ・一般社団法人NEXT TOURISM主催「観光甲子園2025」 決勝大会出場(全国5チーム) 2年 五十嵐彩矢可・2年 漆山 采音・2年 山口 璃子 ・米沢東高等学校主催「トンガリコンペ」 最優秀賞「スノーカプセルガシャ」 2年 渋間 晴翔、優秀賞 「地元種」 2年 渋間 晴翔 優秀賞 「シティシミュレーター」 1年 高橋 春華、優良賞 「郷土愛カラオケ」 2年 渋間 晴翔 ・一般社団法人英語4技能・探究学習推進協会(ESIBLA)主催 中学生のための英語×探究プレゼンコンテスト「第8回Change Maker Awards」 東日本ブロック決勝 金賞 チーム「ONI」 2年 齋藤 心美・2年 渋谷 優里・2年 狩野 佑奈 →全国大会出場予定(3月)(東京除く東日本から2チーム)
<p>ESS</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1回高校生英語ディベート東北ブロック(広域)大会 第3位 Novice Cup 2025 第5位 米沢興譲館B 学校別順位 第4位 米沢興譲館 東置賜地区英語弁論大会 第2位 志賀 俊仁 県大会出場 令和7年度山形県高校生英語ディベート大会 第3位 第20回全国高校生英語ディベート記念大会in埼玉出場

令和七年度 事業報告

- 1 理事・幹事合同会議
令和七年四月二十二日(火) 本校会議室
・令和六年度事業報告(案)及び決算報告(案)
・令和七年度役員構成(案)
・令和七年度事業計画(案)及び予算(案)
- 2 総会
令和七年四月二十八日(月) 本校講堂
・令和六年度事業報告(案)及び決算報告(案)
・令和七年度役員構成(案)
・令和七年度事業計画(案)及び予算(案)
- 3 地区高校総体壮行式
令和七年五月八日(木) 本校講堂
- 4 県高校総体等壮行式
令和七年五月二十七日(火) 本校講堂
- 5 全国高校総体等壮行式
令和七年七月八日(火) 本校講堂
・会長激励
- 6 賛助会員募集・会費納入依頼
令和七年七月吉日
- 7 地区高校新人等壮行式
令和七年九月十八日(木) 本校講堂
- 8 体育文化後援会表彰
令和七年十二月二十五日(木) 本校講堂
・会長より一個人団体を表彰
- 9 会報発行
令和八年二月二十七日(金)
- 10 大会・強化遠征などへの補助
- 11 施設整備
- 12 大会・強化遠征などへの補助

令和七年度 体育文化後援会役員

顧問	土澤 幸雄
会長	内藤 文徳
副会長	小島長五郎
理事	吉田 直史(校長)
	白井 裕久(二学年)
	宗川 真希
	井上 隆(一学年)
	倉田 哲朗(教頭)
	我妻 弘一
	原田 正夫
幹事	倉田 哲朗(教頭)
	多田 実(事務部長)
	小林 啓明(生保課長)
	小池 公善(総務課長)
	山崎礼伊児(三学年)
	鈴木 基
	鈴木 文雄
監事	高木 真也(二学年)
	高野 浩宣(一学年)
事務局長	坂野 理絵(職員)
事務局	手塚 剛(職員)
	志藤征多郎(職員)
	大町季実花(職員)
	古山 広美(職員)

令和6年度 体育文化後援会 決算書

収入の部

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考
一般会費	8,865,000	8,563,000	△ 302,000	1,2,3年生15,000円×591名(保護者)
特別会費	350,000	350,000	0	教職員：7,000円×50名
賛助会費	1,000,000	3,960,000	2,960,000	賛助会員
繰越金	1,882,856	1,882,856	0	令和5年度会計より
雑収入	0	693	693	3学年卒業積立会計より
合計	12,097,856	14,756,549	2,658,693	

支出の部

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考	
事業費	上級大会派遣費	2,920,000	2,833,818	86,182	県以上大会・コンクール
	参加料	770,000	507,100	262,900	県以上大会・コンクール等参加料
	強化費	1,050,000	1,204,140	△ 154,140	遠征・合宿補助
	強化指導費	1,500,000	1,684,481	△ 184,481	生徒引率旅費 コーチ謝礼
	施設整備費	1,500,000	1,024,430	475,570	備品費・修繕費他
	奨励費	400,000	245,096	154,904	懸垂幕・生徒表彰他
	激励費	1,700,000	280,655	1,419,345	全国、東北大会補助
	応援活動費	500,000	361,340	138,660	応援補助
小計	10,340,000	8,141,060	2,198,940		
運営費	会議費	10,000	1,347	8,653	各会議経費
	事務費	70,000	50,914	19,086	事務用品・郵送料・振替手数料
	印刷費	300,000	277,420	22,580	会報印刷代
	渉外費	60,000	134,535	△ 74,535	会長等役員(旅費・参加費)
	人件費	1,106,000	1,091,494	14,506	団体職員人件費
	使用料	80,000	79,200	800	セコムAEDレンタル料
	小計	1,626,000	1,634,910	△ 8,910	
予備費	131,856	117,314	14,542	顧問登録料等	
合計	12,097,856	9,893,284	2,204,572		

決 算 額 収入額 14,756,549 - 支出額 9,893,284 = 残額 4,863,265 (次年度へ繰越)

令和7年度 体育文化後援会 予算

収入の部

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

項 目	本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備 考
一般会費	7,938,000	8,865,000	△ 927,000	1,2,3年生14,000円×567名(保護者)
特別会費	312,000	350,000	△ 38,000	教職員：6,000円×52名
賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	賛助会員
繰越金	4,863,265	1,882,856	2,980,409	令和6年度会計より(特別基金含む)
雑収入	693	0	693	
合計	14,113,958	12,097,856	2,016,102	

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備 考	
事業費	上級大会派遣費	2,800,000	2,920,000	△ 120,000	県以上大会・コンクール
	参加料	600,000	770,000	△ 170,000	県以上大会・コンクール等参加料
	強化費	1,250,000	1,050,000	200,000	遠征・合宿補助
	強化指導費	1,750,000	1,500,000	250,000	生徒引率旅費 コーチ謝礼、顧問登録料など
	施設整備費	2,000,000	1,500,000	500,000	備品費・修繕費他(特別整備費含む)
	奨励費	400,000	400,000	0	懸垂幕・生徒表彰他
	激励費	1,000,000	1,700,000	△ 700,000	全国、東北大会補助
	応援活動費	650,000	500,000	150,000	応援補助
小計	10,450,000	10,340,000	110,000		
運営費	会議費	5,000	10,000	△ 5,000	各会議経費
	事務費	70,000	70,000	0	事務用品・郵送料・振替手数料
	印刷費	300,000	300,000	0	会報印刷代
	渉外費	60,000	60,000	0	会長等役員(旅費・参加費)
	人件費	1,106,000	1,106,000	0	団体職員人件費
	使用料	80,000	80,000	0	セコムAEDレンタル代 1ヶ月使用料¥6,600×12ヶ月分他
	小計	1,621,000	1,626,000	△ 5,000	
予備費	2,042,958	131,856	1,911,102	慶弔費など(特別基金含む)	
合計	14,113,958	12,097,856	2,016,102		

米沢興讓館高等学校体育文化後援会規約

(名称・事務局)

第一条 本会は、米沢興讓館高等学校体育文化後援会(以下「本会」といふ)と称する。

二 本会の事務局を米沢興讓館高等学校(以下「本校」といふ)内に置く。

(目的)

第二条 本会は、本校における部活動をはじめとする、体育文化活動の振興及び発展を図ることを目的とする。

(事業)

第三条 本会は、第二条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (一)本校の体育文化活動の振興及び発展のために必要と認める事業。
- (二)その他本会の目的達成のために必要な事業。

(組織)

第四条 本会は、保護者(一般会員)及び、教職員(特別会員)、OB・OG等本会の目的に賛同する者(賛助会員)を以て組織する。

(役員)

第五条 本会に会長(一名)、副会長(三名)、理事(六名)、幹事(七名)、監事(二名)の役員を置く。

二 役員任期は一年とする。但し再任を妨げない。

(役員選出)

第六条 役員は下記により選出し、

総会の承認を得ることとする。

- (一)会長は、理事会で選出する。
- (二)副会長は、校長、教育振興会会長及び部OB・OGのなかから選出された一名がこれにあたる。

(三)理事は、教育振興会副会長三名(一・三学年の部会長、教頭)及び部OB・OGのなかから選出された三名がこれにあたる。

(四)幹事は、教頭、事務部長、生徒課長、総務課長、保護者一名(三学年)及び部OB・OGのなかから選出された二名がこれにあたる。

(五)監事は、保護者二名(一・二学年各一名)がこれにあたる。

(役員任務)

第七条 役員任務は次の通りとする。

- (一)会長は会務を統括し、本会を代表する。
- (二)副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- (三)理事は本会の運営について審議する。

(四)幹事は会務の企画、立案、執行にあたる。

(五)監事は本会の事業並びに会計を監査する。

(顧問)

第八条 本会に顧問を置くことができる。

二 顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

(事務局)

第九条 事務局は、会長委嘱による事務局員で構成し、日常業務を処理する。

(会議)

第十条 本会の会議は総会、理事会、幹事会とする。

(一)総会は会長が年一回招集し、役員承認、予算・決算承認、規約の改正、その他必要事項を議決する。また、必要あるときは臨時総会を招集することができる。

(二)理事会、幹事会は必要に応じて随時会長が招集し、総会に提出する議案に関する事、本会の運営に関する事、その他必要事項を審議する。

(三)理事会は会長、副会長、理事で構成する。

(四)総会及び理事会の議長は会長が務める。幹事会の議長は教頭が務める。

(経費)

第十一条 本経費は、一般会員会費、特別会員会費、賛助会員会費、その他の収入を以てこれにあてる。

(一)各会員の会費は次の通りとする。

一般会員(保護者)

一四、〇〇〇円

特別会員(教職員)

六、〇〇〇円

賛助会員

一〇、〇〇〇円以上

(二)一般会員が「山形県立高等学校の授業料等徴収条例」第八条の授業料の減免に該当したときは会費を減免できるものとする。ただし、納付済みのものについてはこれを行わない。

(会計年度)

第十二条 本会の会計年度は毎年四月一日から翌三月三十一日までとする。

(付則)

本会の規約は、次のとおり制定・改正する。

昭和三十二年九月十九日制定

昭和四十年六月一日改正

昭和四十五年十二月五日改正

昭和四十九年五月十五日改正

昭和五十一年三月二十四日改正

平成三年三月一日改正

平成四年五月二十二日改正

平成十五年四月二十六日改正

平成二十年四月二十八日改正

平成二十四年四月二十六日改正

平成三十二年四月二十五日改正

令和五年四月二十七日改正

令和六年四月二十六日改正

令和七年四月二十八日改正

賛助会員名簿

(敬称略順不同・令和8年2月17日現在)

尻高 邦夫 米沢市
 佐藤 吉憲 大阪府箕面市
 柿崎 悦子 米沢市
 中條 明夫(中條医院) 米沢市
 駅前最上接骨院 浦山 州弘 米沢市
 山口 晃(S49年卒) 新潟県新潟市
 遠藤 岩根 米沢市
 (株)川島印刷 米沢市
 (一財)三友堂病院 米沢市
 理事長 仁科 盛之
 (特非)赤とんぼ 米沢市
 理事長 山口 征一 米沢市
 あさひ歯科医院 鈴木 基 米沢市
 内藤 文徳 米沢市
 (株)振興電気 米沢市
 代表取締役 鈴木 雄一 米沢市
 山水 克美 南陽市
 佐藤歯科医院 佐藤 充弘 白鷹町
 鈴木歯科医院 米沢市
 (株)データシステム米沢 米沢市
 (株)本多建設 米沢市
 代表取締役 本多作之助 米沢市
 小野 隆夫 米沢市
 粋の宿 招湯苑 米沢市
 東北警備保障(株) 米沢市
 代表取締役 武田誠一郎 米沢市

税理士法人 豊 米沢市
 (株)小嶋総本店 米沢市
 猪口 春生 米沢市
 我妻建設工業(株) 米沢市
 代表取締役 我妻 弘一 米沢市
 中條 良文 米沢市
 (株)小島洋酒店 米沢市
 宗川 巧業(株) 米沢市
 代表取締役 宗川 真希 米沢市
 (株)殖産工務所 米沢市
 代表取締役 伊藤 一壽 川西町
 金子建設工業(株) 米沢市
 林歯科医院 林 隆一 米沢市
 (株)米沢自動車学校 米沢市
 (株)西方商店 米沢市
 (株)ヤリミズ自動車 米沢市
 (医)田中クリニク 米沢市
 教育振興会 田中 雄二 米沢市
 副会長 六戸 俊文 米沢市
 (株)遠藤書店 米沢市
 (株)一文字屋 米沢市
 (株)後藤組 米沢市
 代表取締役 後藤 茂之 米沢市
 (株)エービーエム 米沢市
 代表取締役社長 斎藤 正則 米沢市

県南自動車学校 高島町
 (医)さの医院 米沢市
 日本防災工業(株) 米沢市
 (株)オーシャンシステムランチサービス事業部 米沢市
 米沢信用金庫 米沢市
 (医)大峡歯科医院・米沢ファミリー歯科・矯正歯科 大峡 潤 米沢市
 セブンイレブン 米沢市
 (有)ハヤシ薬局 林 宜明 米沢市
 マックドライブینگスクール米沢松岬校 米沢市
 鈴木 文雄(日元年卒) 米沢市
 (株)吾妻スポーツ 米沢市
 相馬写真館 米沢市
 産科婦人科 島貫医院 米沢市
 (株)平山孫兵衛商店 米沢市
 代表取締役 平山 順一 米沢市
 (株)植杉造園 米沢市
 代表取締役 吉田 耕一 米沢市
 かねしめ水産(株) 米沢市
 (有)毘龍レンタカー 米沢市
 高橋歯科医院 高橋 誠 米沢市
 (株)紫雲堂 米沢市
 千代田電工(株) 米沢市
 代表取締役 高野 信道 米沢市
 (株)米沢牛 黄木 米沢市
 代表取締役 黄木修太郎 米沢市
 (有)肉のさかの 米沢市

(有)キョウドウ印刷 米沢市
 代表取締役 石川 陽石 米沢市
 太田建設(株) 米沢市
 代表取締役 太田 政往 米沢市
 (株)ナウエル 米沢市
 代表取締役 酒井 登 米沢市
 ホテルモンテビュウ米沢 米沢市
 黄木脳神経クリニック 黄木 正登 米沢市
 (医)大道寺医院 米沢市
 理事長 大道寺浩一 米沢市
 上杉城史苑(株) 米沢市
 (株)上杉コーポレーション 米沢市
 石川 正弘 大阪府枚方市
 米興羽会(バドミントンOB会) 米沢市
 米沢興譲館高校 吹奏楽研究クラブOB会 米沢市
 米沢興譲館高等学校野球部OB会 米沢市
 米沢興譲館高等学校 柔道部OB・OG会 米沢市
 興譲館バレーボール部OB会 米沢市
 サッカー部OB会 米沢市
 興庭会(ソフトテニスOB会) 米沢市

あたたかいご支援
 ご協力ありがとうございました。
 ございました。